

越谷市地域福祉計画に係る アンケート調査

報 告 書 **(速報版)**

令和6年11月

越谷市

目次

I	調査の概要	2
1	調査の目的	2
2	調査対象	2
3	調査期間	2
4	調査方法	2
5	回収状況	2
6	報告書のみかた	2
II (1)	調査結果：市民アンケート	4
1	本人について	4
①	性別	4
②	年齢	4
③	居住年数	5
④	居住地区	5
⑤	職業	6
⑥	家族構成	6
2	地域とのつながりや地域活動について	7
①	近所とのつきあい	7
②	近所との付き合いの希望	8
③	地域コミュニティの範囲	8
④	地域活動への参加	9
⑤	地域での手助け	10
⑥	地域の問題の解決方法	11
3	ボランティア・NPO 活動について	12
①	ボランティアやNPO 活動の経験	12
②	ボランティアやNPO 活動を広げるために必要なこと	15
4	地域生活における不安や悩み・相談窓口に関して	16
①	地域福祉の拠点や組織の認知度	16
②	相談先	17
③	身近な支援者	18
④	孤独や孤立の状況	19
⑤	行政からの情報・お知らせ	20
⑥	災害時の受援力	20
5	成年後見制度に関して	21
①	成年後見制度の認知度	21
②	「成年後見センターこしがや」の認知度	21
③	成年後見制度を利用しやすくするために必要なこと	22
6	再犯防止に関して	23

① 民間協力者の認知度	23
② 再犯防止で力を入れていくべき施策	23
7 越谷市の地域福祉全般について	24
① 越谷市の地域福祉の現状について	24

II (2) 調査結果：団体アンケート①.....26

1 団体の概要について	26
① 住所	26
② 組織形態	26
③ 構成員	27
④ 活動場所	27
2 団体の地域活動状況について	28
① 主な活動等	28
② 今後取り組んでみたい活動	29
③ 活動に必要な情報	30
④ 市役所・社会福祉協議会に期待する支援	30
3 活動上の課題や他の団体等との連携について	31
① 運営上の問題点・課題	31
② 連携・協力関係	32
③ 困りごと等の相談	34
4 越谷市全体の地域福祉や地域活動の活性等について	36
① 越谷市の地域福祉の現状	36
② ボランティアや NPO 活動を広げるために必要なこと	37
③ 個別避難計画の認知度	38

II (3) 調査結果：団体アンケート②.....40

1 事業所の概要について	40
① 住所	40
② 業種	41
2 事業所の地域活動状況について	42
① 地域の課題解決に関して取り組んでいる主な活動等	42
② 今後取り組んでみたい活動	44
③ 活動場所	45
④ 活動に必要な情報	45
⑤ 市役所・社会福祉協議会に期待する支援	46
3 活動上の課題や他の団体等との連携について	47
① 運営上の問題点・課題	47
② 連携・協力関係	48
③ 困りごと等の相談	50
4 越谷市全体の地域福祉や地域活動の活性等について	52
① 越谷市の地域福祉の現状	52

②	ボランティアや NPO 活動を広げるために必要なこと	53
③	個別避難計画の認知度	54

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「第4次越谷市地域福祉計画、地域福祉活動計画（計画期間：令和8年度～令和12年度）」を策定するにあたり、計画の基礎資料として、市民や福祉関係団体、事業者の方々の意見を把握することを目的として実施しました。

2 調査対象

- （1）市内在住 16 歳以上 3,000 人（住民基本台帳より無作為抽出）
- （2）地域で活動する団体 904 団体（自治会、社会福祉法人など）
- （3）地域で活動する企業 11 事業所

3 調査期間

- ・令和6年7月～同年8月

4 調査方法

- ・郵送配布、郵送・Web 回答
- （団体、企業については、一部メールで配布）

5 回収状況

項目	配布	回収数	回収率
（1）市民	3,000	1,271	42.4%
（2）団体	904	689	76.2%
（3）企業	11	7	63.6%

6 報告書のみかた

- 調査結果の比率は、その設問の回答者を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答形式の各項目の回答の合計を足し上げた場合、回答者数を上回るため、回答比率の合計が100%を超えることがあります。
- 選択肢の語句が長い場合、省略した表現を用いることがあります。

Ⅱ（１） 調査結果：市民アンケート

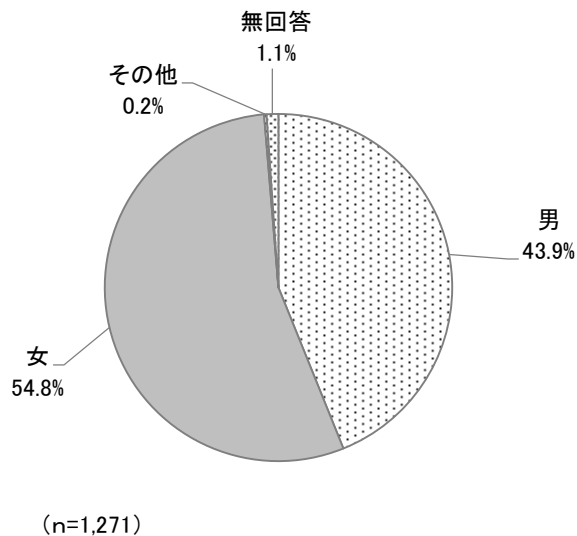
Ⅱ（１） 調査結果：市民アンケート

1 本人について

① 性別

問1 あなたの性別をお聞かせください。（1つに○）

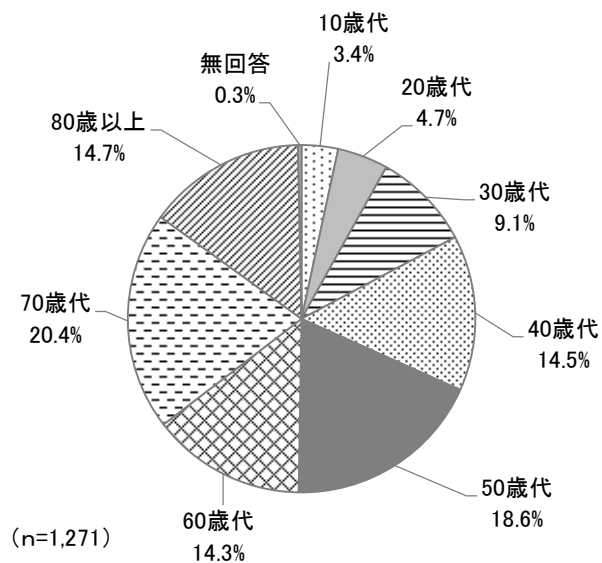
性別は、「女」が54.8%、「男」が43.9%となっています。



② 年齢

問2 あなたの現在の年齢をお聞かせください。（1つに○）

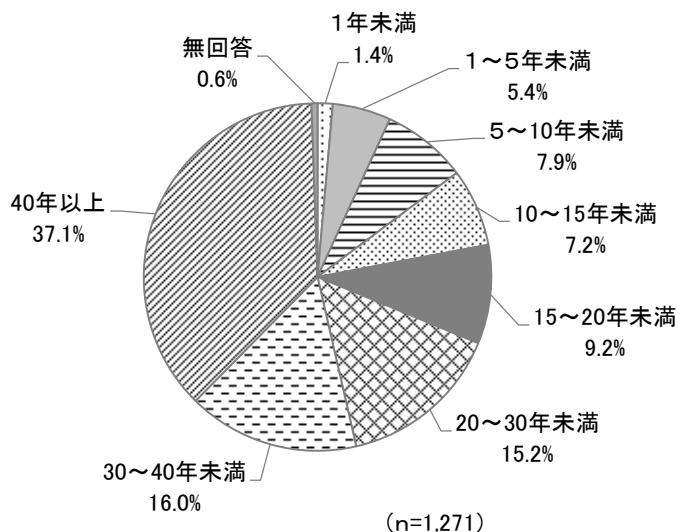
年齢は、「70歳代」が20.4%と最も多く、次いで「50歳代」が18.6%となっています。



③ 居住年数

問3 あなたは越谷市に住んで何年になりますか。(1つに○)

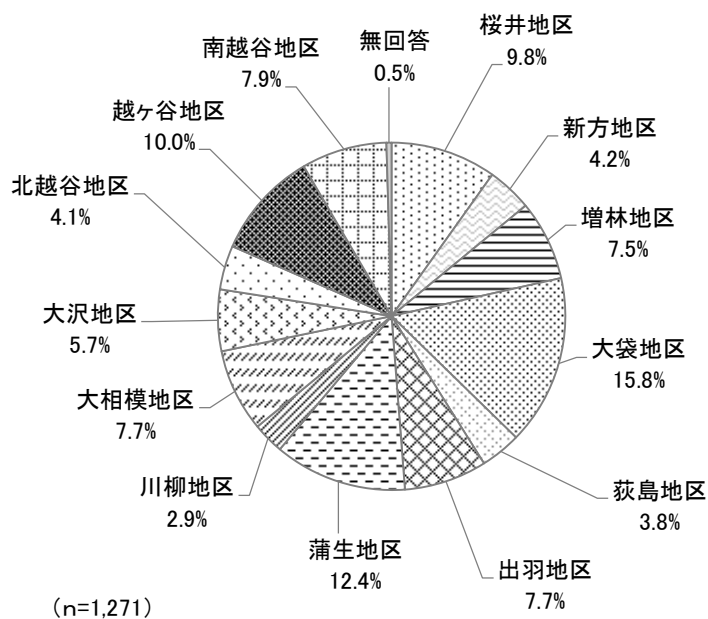
居住年数は、「40年以上」が37.1%と最も多く、次いで「30～40年未満」が16.0%となっています。



④ 居住地区

問4 お住まいの地区はどこですか。(1つに○)

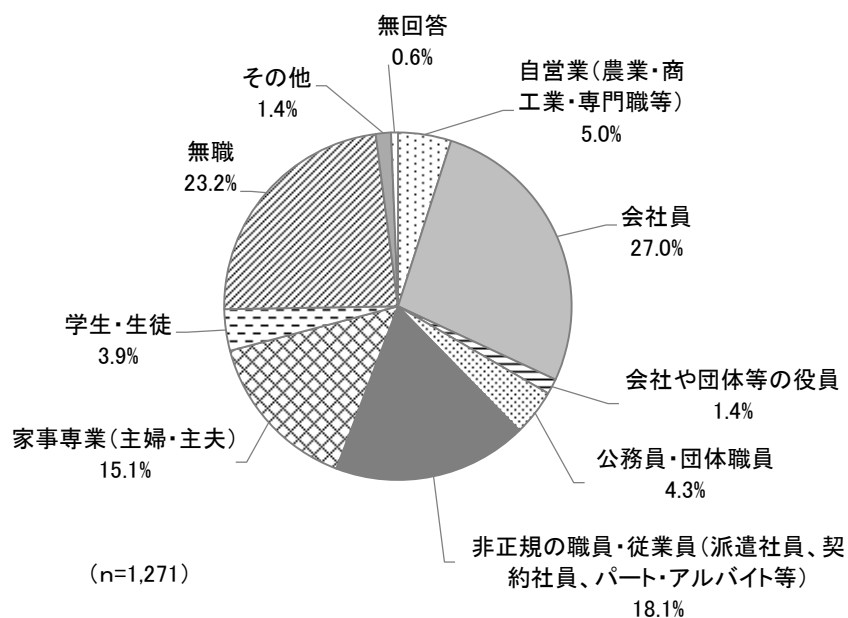
居住地区は、「大袋地区」が15.8%と最も多く、次いで「蒲生地区」が12.4%となっています。



⑤ 職業

問5 ご職業は何ですか。(1つに○)

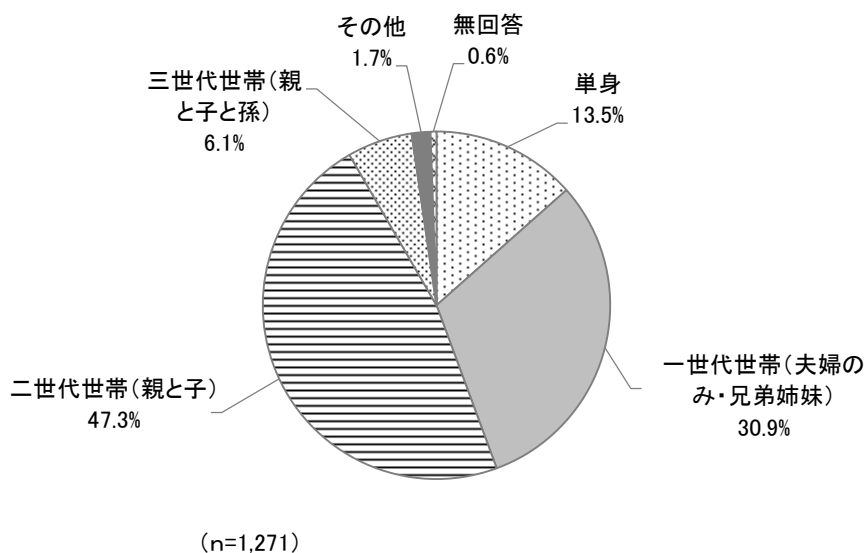
職業は、「会社員」が27.0%と最も多く、次いで「無職」が23.2%となっています。



⑥ 家族構成

問6 ご家族の構成についてお答えください。(1つに○)

家族構成は、「二世世代世帯(親と子)」が47.3%と最も多く、次いで「一世世代世帯(夫婦のみ・兄弟姉妹)」が30.9%となっています。

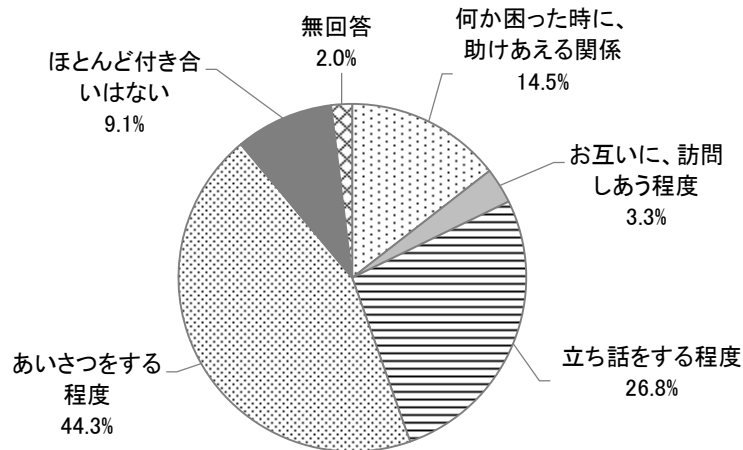


2 地域とのつながりや地域活動について

① 近所とのつきあい

問7 あなたは、ご近所の方との付き合いをどの程度していますか。（1つに○）

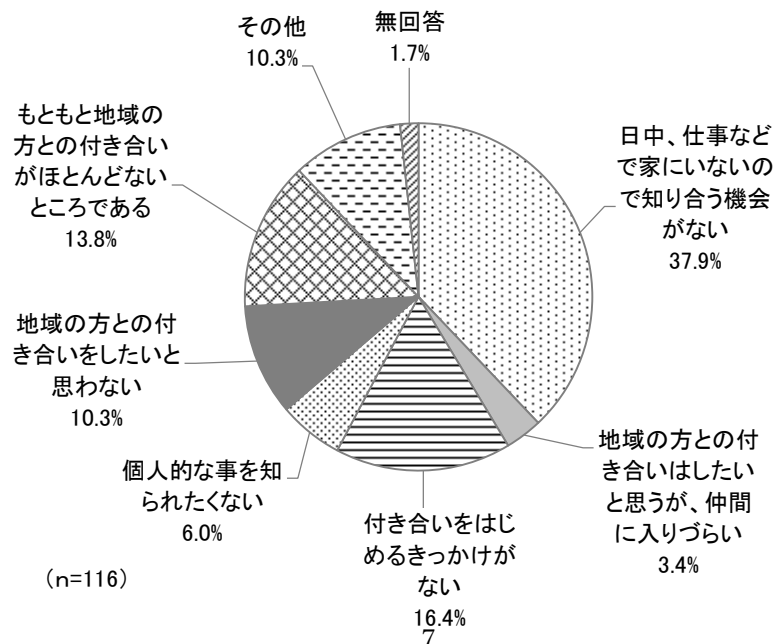
近所とのつきあいは、「あいさつをする程度」が44.3%と最も多く、次いで「立ち話をする程度」が26.8%となっています。



(n=1,271)

問7-1（問7で「5.ほとんど付き合いはない」とお答えの方に）その理由に最も近いものは何ですか。（1つに○）

近所付き合いがない理由は、「日中、仕事などで家にいないので知り合う機会がない」が37.9%と最も多く、次いで「付き合いをはじめるきっかけがない」が16.4%となっています。

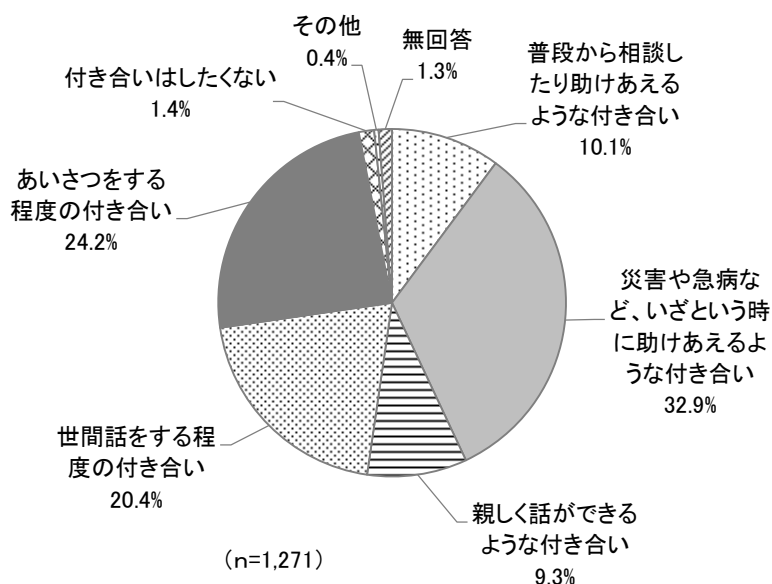


(n=116)

② 近所との付き合いの希望

問8 ご近所の方との付き合いはどの程度が望ましいと考えますか。(1つに○)

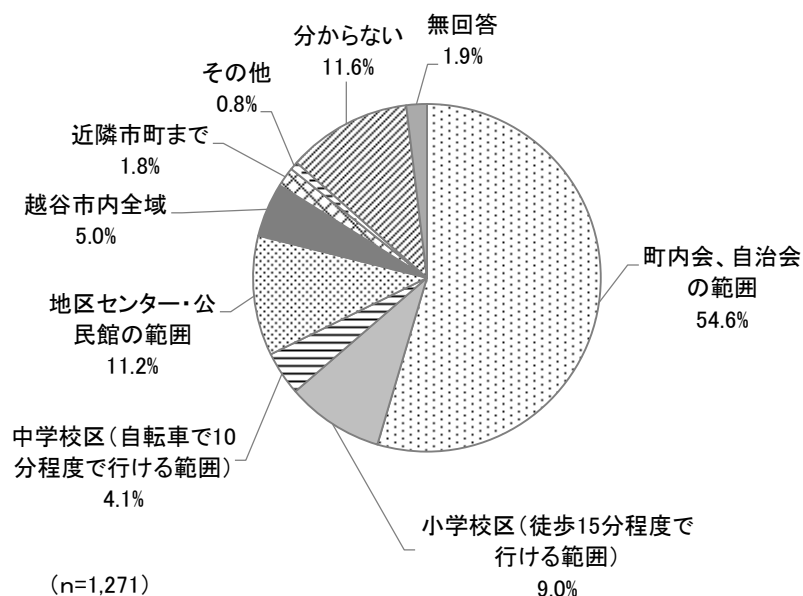
近所との付き合いの希望は、「災害や急病など、いざという時に助けあえるような付き合い」が32.9%と最も多く、次いで「あいさつをする程度の付き合い」が24.2%となっています。



③ 地域コミュニティの範囲

問9 あなたが考える、地域コミュニティの範囲はどれですか。(1つに○)

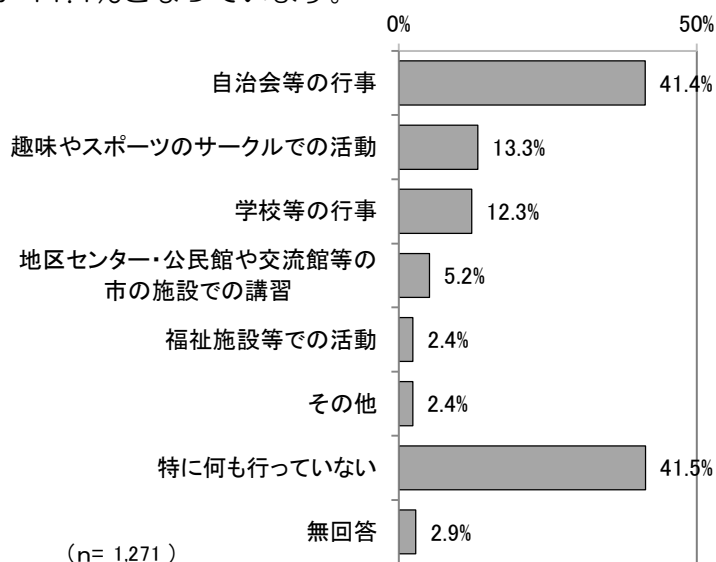
地域コミュニティの範囲は、「町内会、自治会の範囲」が54.6%と最も多く、次いで「分からない」が11.6%となっています。



④ 地域活動への参加

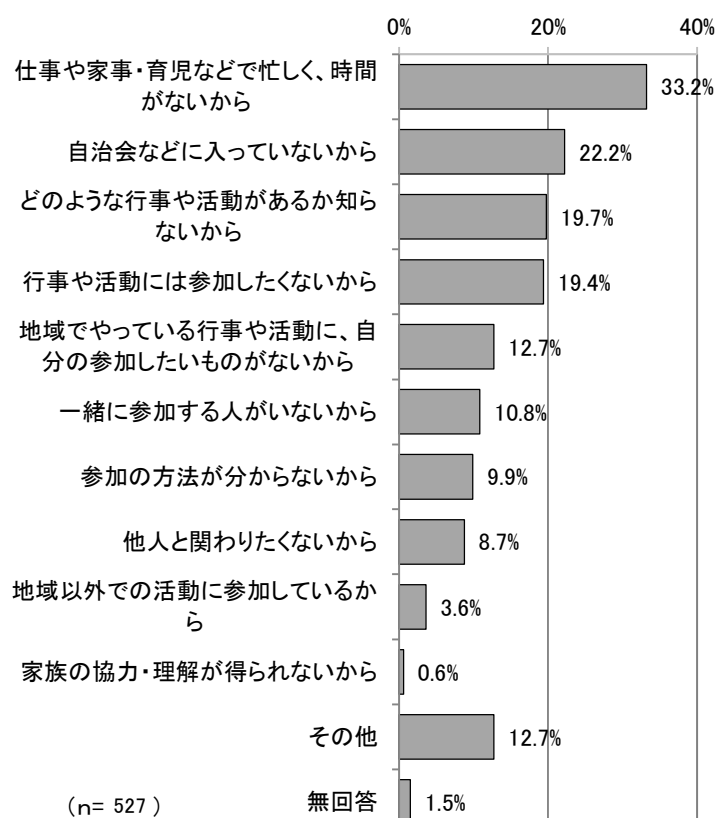
問10 あなたは、お住まいの地域でどのような活動に参加していますか。
(あてはまるものすべてに○)

地域活動への参加は、「特に何も行っていない」が41.5%と最も多く、次いで「自治会等の行事」が41.4%となっています。



問10-1 (問10で「7.特に何も行っていない」とお答えの方に) 参加していない主な理由をお聞かせください。(○は3つまで)

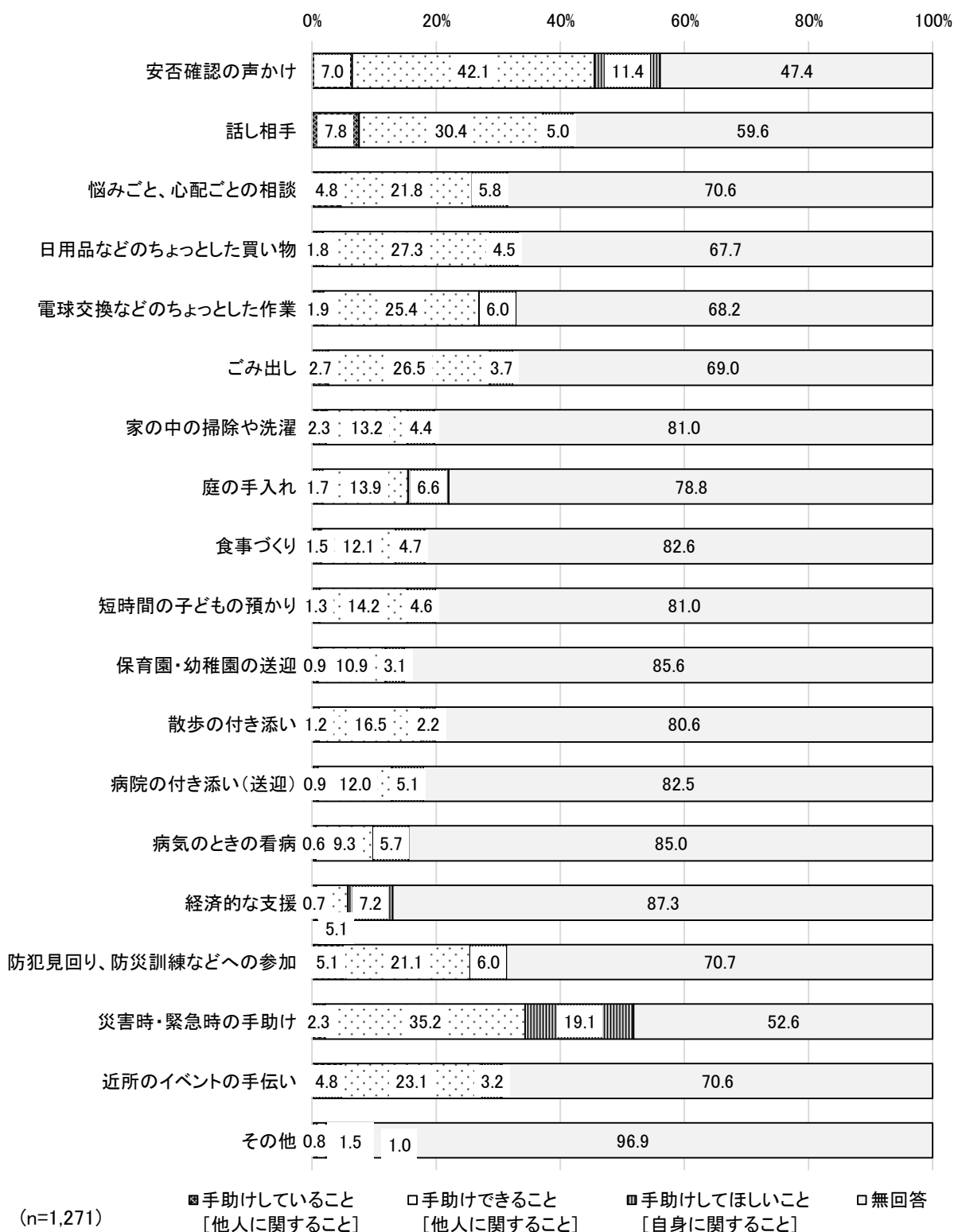
参加していない理由は、「仕事や家事・育児などで忙しく、時間がないから」が33.2%と最も多く、次いで「自治会などに入っていないから」が22.2%となっています。



⑤ 地域での手助け

問11 あなたは、地域で困っている人に現在「手助けしていること」や、困っている人がいる場合に「手助けできること」はありますか。また、現在、あなた自身が地域の人に「手助けしてほしいこと」はありますか。（あてはまるものすべてに○）

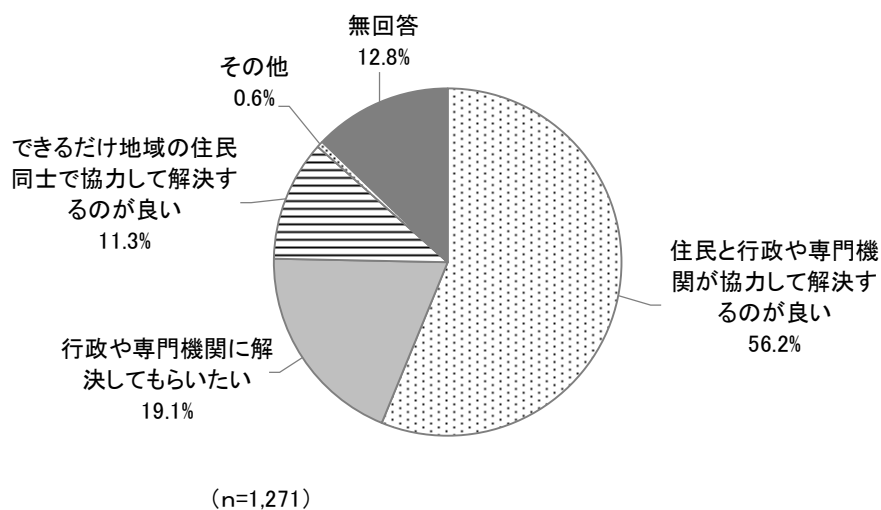
「手助けできること〔他人に関すること〕」は、「安否確認の声かけ」、「話し相手」、「災害時・緊急時の手助け」において30%以上となっています。また、「手助けしてほしいこと〔自身に関すること〕」は、「安否確認の声かけ」、「災害時・緊急時の手助け」が10%以上となっています。



⑥ 地域の問題の解決方法

問12 地域の中で起こる困り事や心配な事に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(1つに○)

地域の問題の解決方法は、「住民と行政や専門機関が協力して解決するのが良い」が56.2%と最も多く、次いで「行政や専門機関に解決してもらいたい」が19.1%となっています。

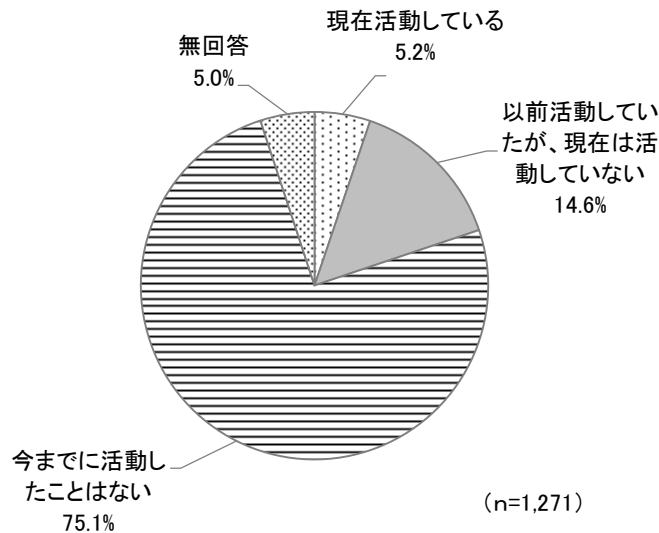


3 ボランティア・NPO 活動について

① ボランティアや NPO 活動の経験

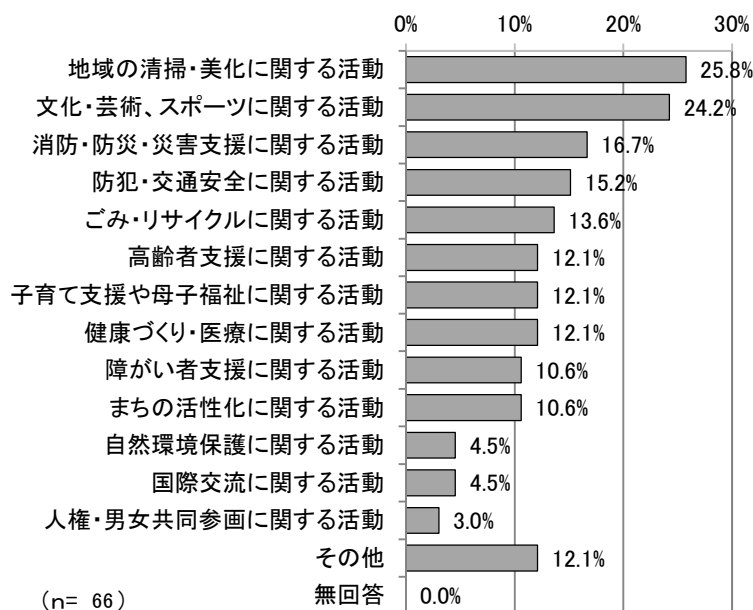
問13 これまでにボランティアやNPO で活動したことがありますか。(1つに○)

ボランティアや NPO 活動の経験は、「今までに活動したことはない」が 75.1%と最も多く、次いで「以前活動していたが、現在は活動していない」が 14.6%となっています。



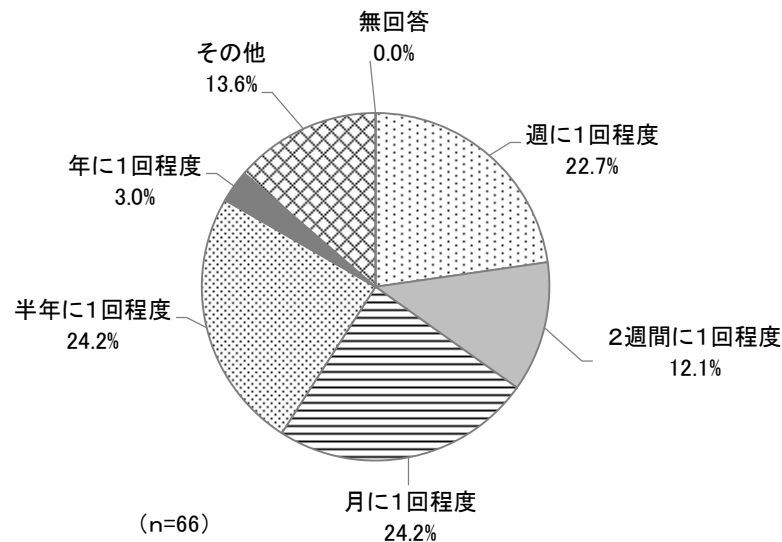
問13-1 (問13で「1. 現在活動している」とお答えの方に) 現在どのような活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

現在している活動は、「地域の清掃・美化に関する活動」が 25.8%と最も多く、次いで「文化・芸術、スポーツに関する活動」が 24.2%となっています。



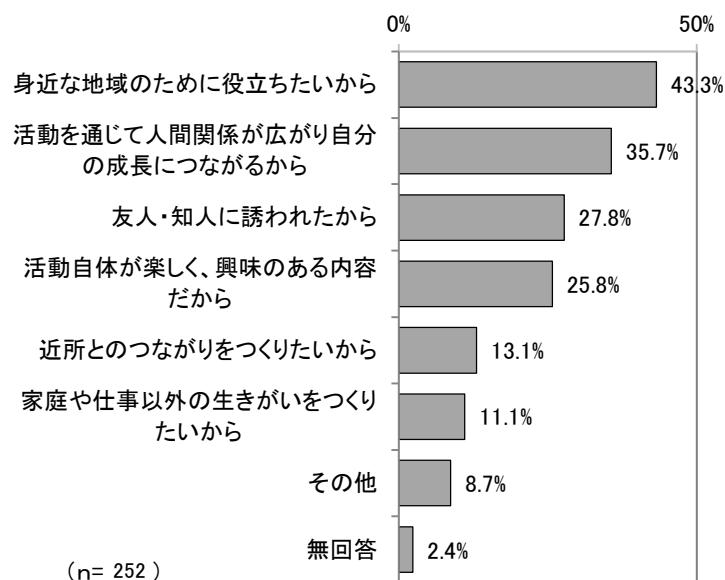
問13-2（問13で「1. 現在活動している」とお答えの方に）どれくらいの頻度で活動していますか。（1つに○）

活動頻度は、「月に1回程度」と「半年に1回程度」がそれぞれ24.2%と最も多くなっています。



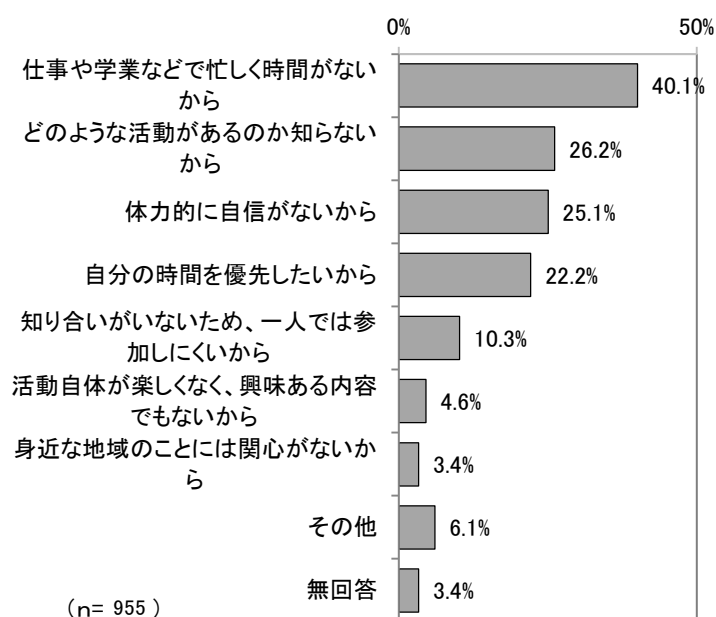
問13-3（問13で「1. 現在活動している」、または「2. 以前活動していたが、現在は活動していない」とお答えの方に）ボランティア活動やNPO活動に参加している（していた）主な理由は何ですか。（○は3つまで）

ボランティア活動やNPO活動に参加している主な理由は、「身近な地域のために役立ちたいから」が43.3%と最も多く、次いで「活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから」が35.7%となっています。



問13-4（問13で「3. 今までに活動したことはない」とお答えの方に）あなたがボランティア活動やNPO活動に参加していない主な理由をお聞かせください。（〇は2つまで）

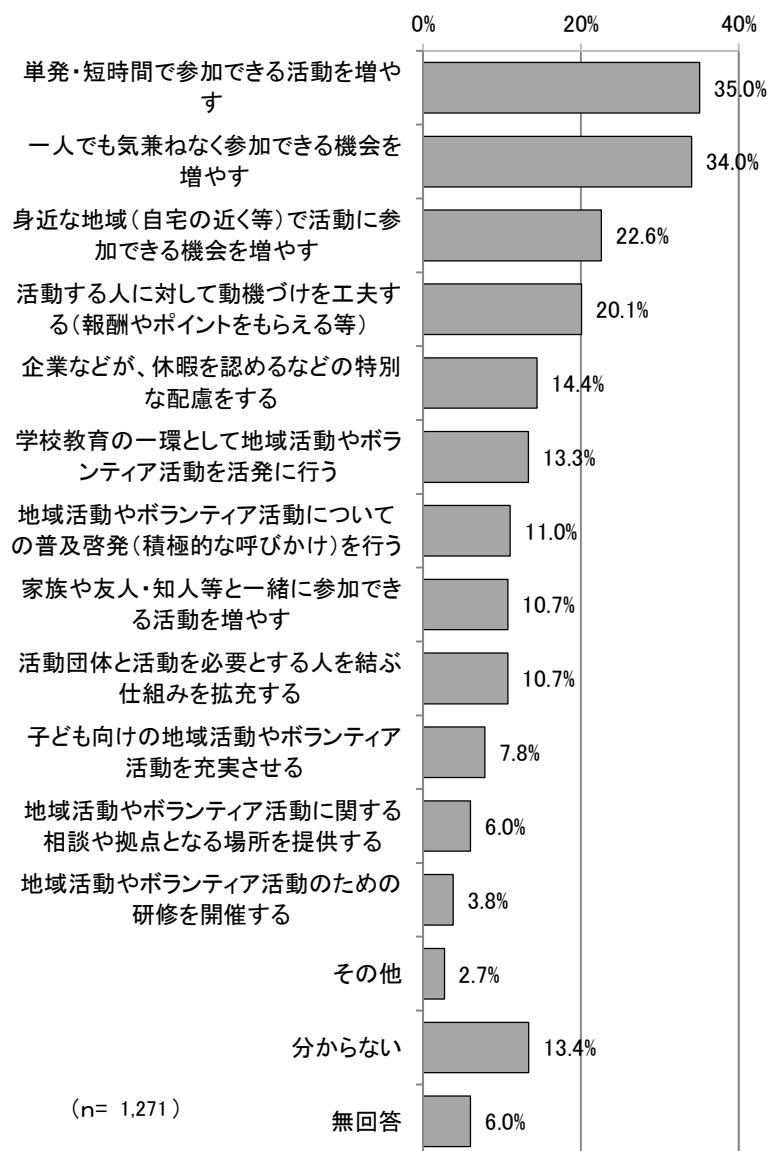
ボランティア活動やNPO活動に参加していない主な理由は、「仕事や学業などで忙しく時間がないから」が40.1%と最も多く、次いで「どのような活動があるのか知らないから」が26.2%となっています。



② ボランティアやNPO活動を広げるために必要なこと

問14 ボランティア活動・NPO活動や市民の主体的な活動が地域に広がっていくためには、何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

ボランティアやNPO活動を広げるためには、「単発・短時間で参加できる活動を増やす」が35.0%と最も多く、次いで「一人でも気兼ねなく参加できる機会を増やす」が34.0%となっています。

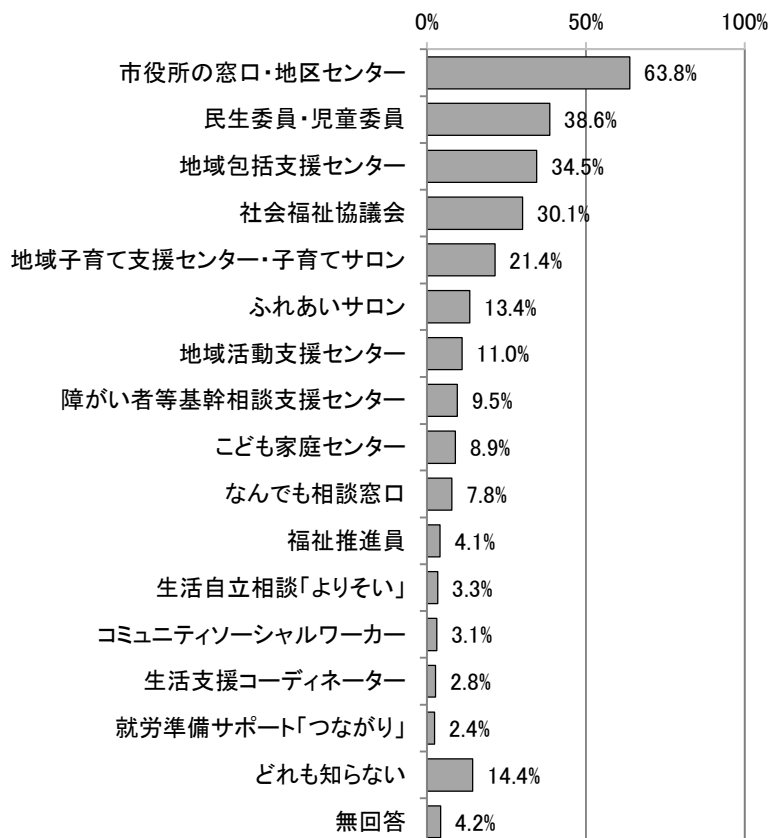


4 地域生活における不安や悩み・相談窓口に関して

① 地域福祉の拠点や組織の認知度

問15 あなたは、次のような地域福祉の拠点や組織を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

地域福祉の拠点や組織の認知度は、「市役所の窓口・地区センター」が63.8%と最も多く、次いで「民生委員・児童委員」が38.6%となっています。

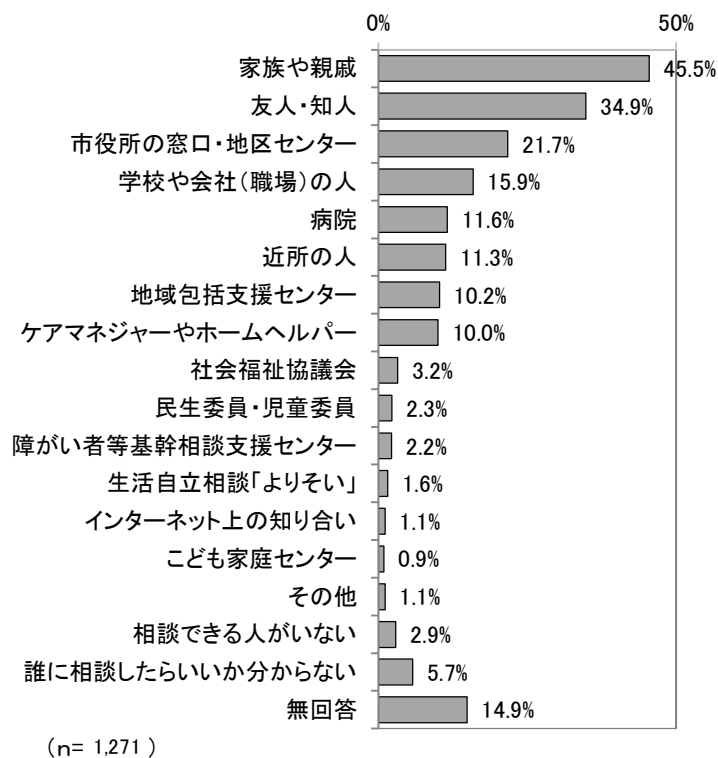


(n= 1,271)

② 相談先

問16 日常生活で困ったことがあった際に、実際に相談したことがある人（もしくは窓口等）は誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

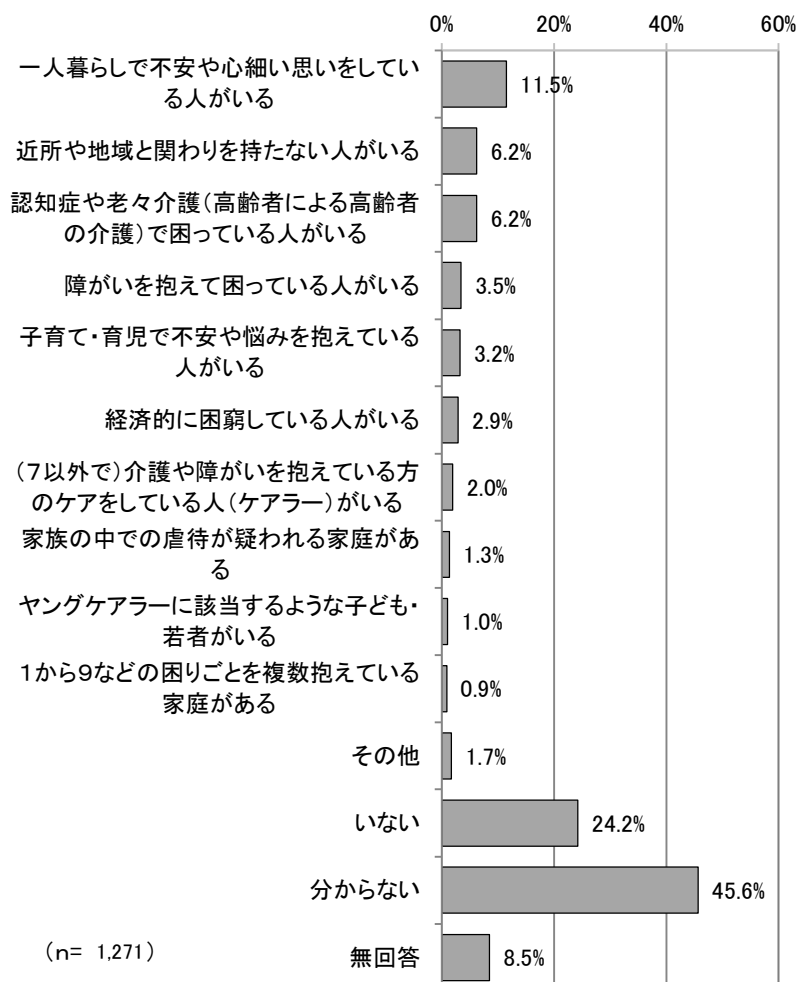
相談先は、「家族や親戚」が45.5%と最も多く、次いで「友人・知人」が34.9%となっています。



③ 身近な支援者

問17 あなた自身も含め、現在お住まいの地域で、気にかかる人（支援が必要そうな人）はいますか。（あてはまるものすべてに○）

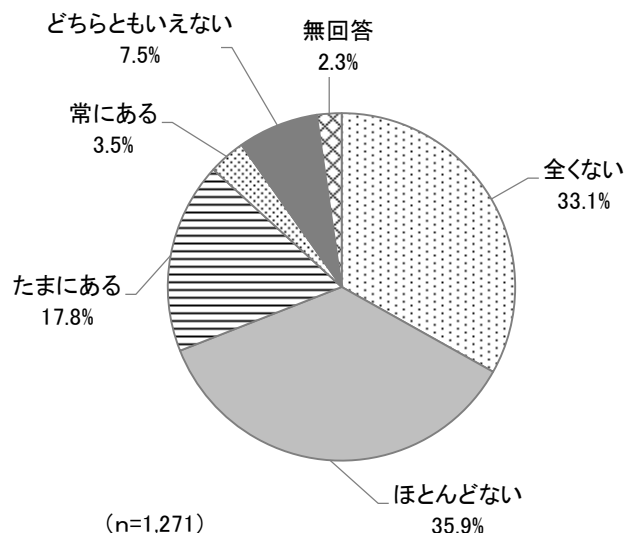
身近な支援者は、「分からない」が45.6%と最も多く、次いで「いない」が24.2%となっています。



④ 孤独や孤立の状況

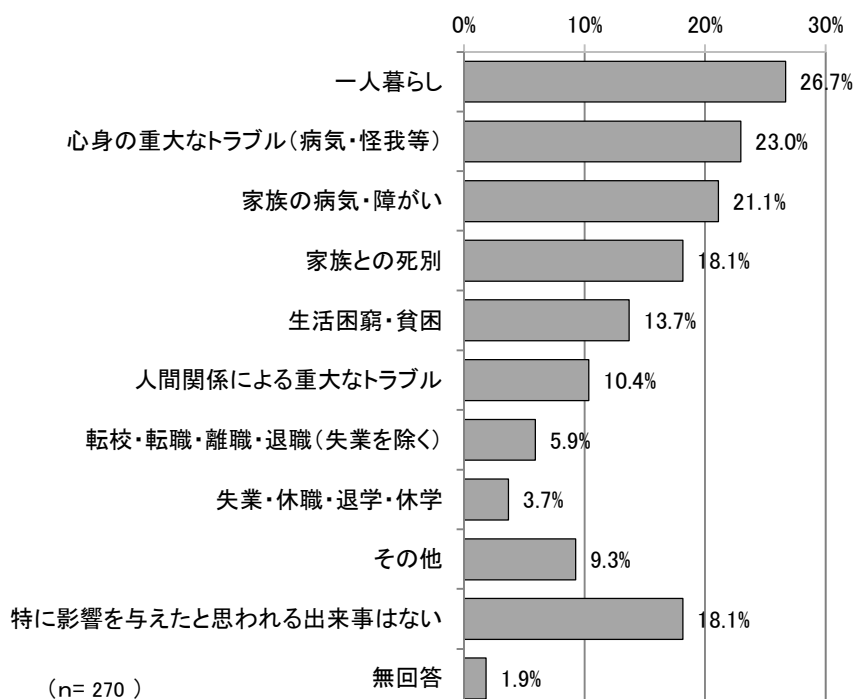
問18 あなたは普段の生活の中で、孤独や孤立を感じることはありますか。（1つに○）

孤独や孤立を感じることは、「ほとんどない」が35.9%と最も多く、次いで「全くない」が33.1%となっています。



問18-1（問18で「3. たまにある」「4. 常にある」とお答えの方に）孤独や孤立を感じる要因として考えられるものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

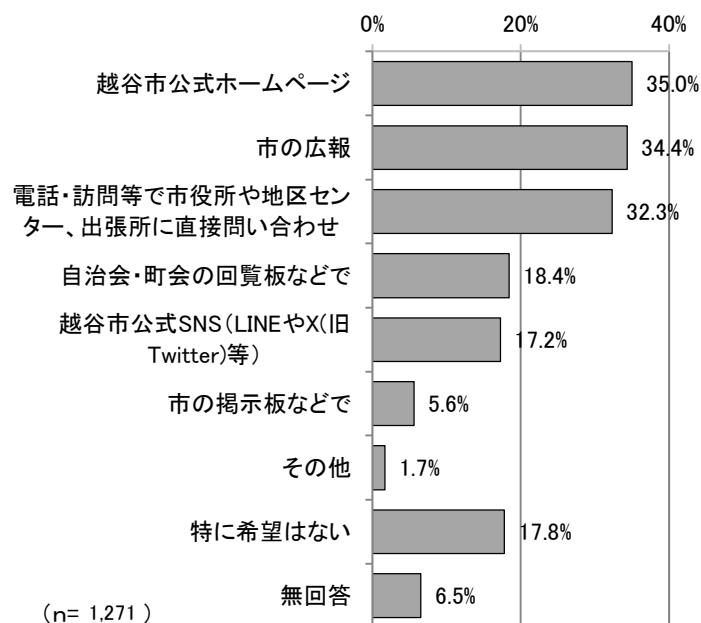
孤独や孤立を感じる要因は、「一人暮らし」が26.7%と最も多く、次いで「心身の重大なトラブル（病気・怪我等）」が23.0%となっています。



⑤ 行政からの情報・お知らせ

問19 悩みや不安、困り事を解決するための行政情報やお知らせを知るために、あなたが希望する媒体や手段を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

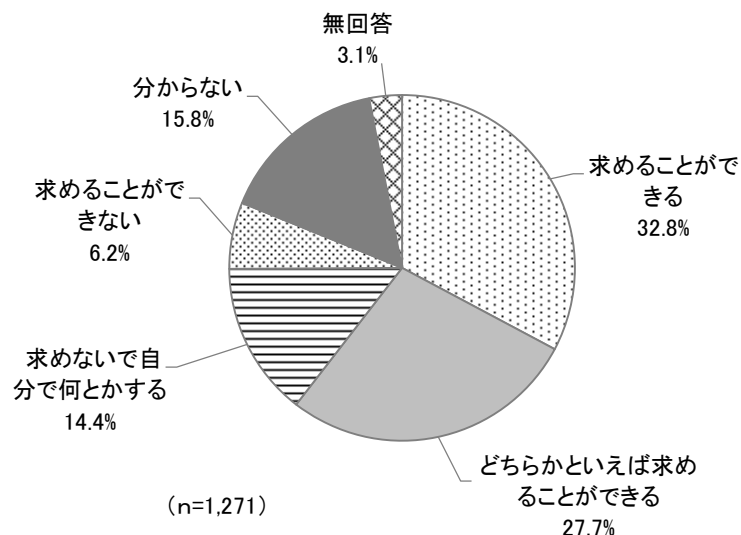
行政からの情報・お知らせを知るために希望する媒体や手段は、「越谷市公式ホームページ」が35.0%と最も多く、次いで「市の広報」が34.4%となっています。



⑥ 災害時の受援力

問20 災害時などの有事の際に誰かの助けが必要な時に、あなたは誰かを頼ったり、助けを求めたりすることができますか。(1つに○)

災害時の受援力は、「求めることができる」が32.8%と最も多く、次いで「どちらかといえば求めることができる」が27.7%となっています。

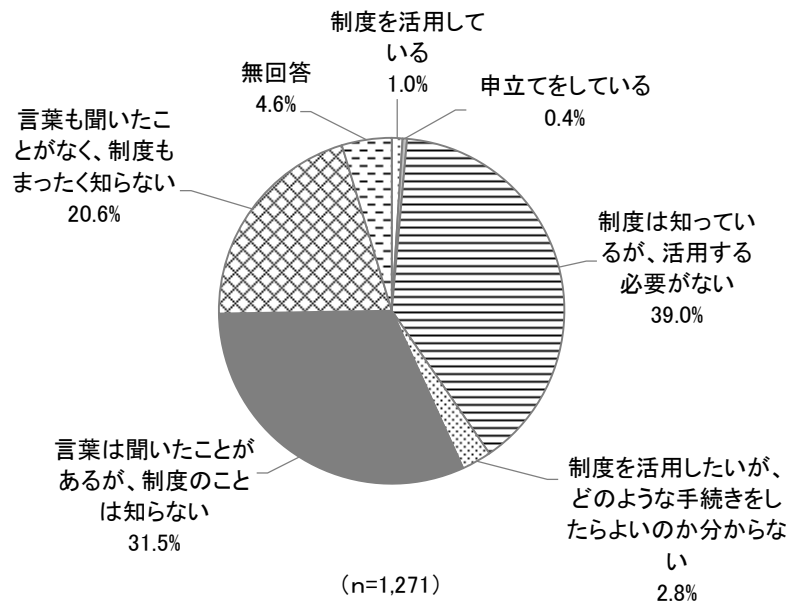


5 成年後見制度に関して

① 成年後見制度の認知度

問21 あなたは「成年後見制度」について知っていますか。(1つに○)

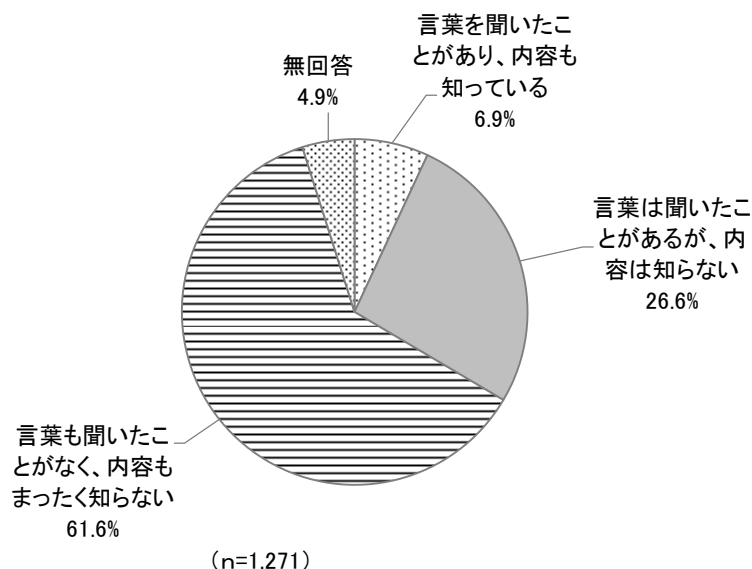
成年後見制度の認知度は、「制度は知っているが、活用する必要がある」が39.0%と最も多く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、制度のことは知らない」が31.5%となっています。



② 「成年後見センターこしがや」の認知度

問22 あなたは、「成年後見センターこしがや」について知っていますか。(1つに○)

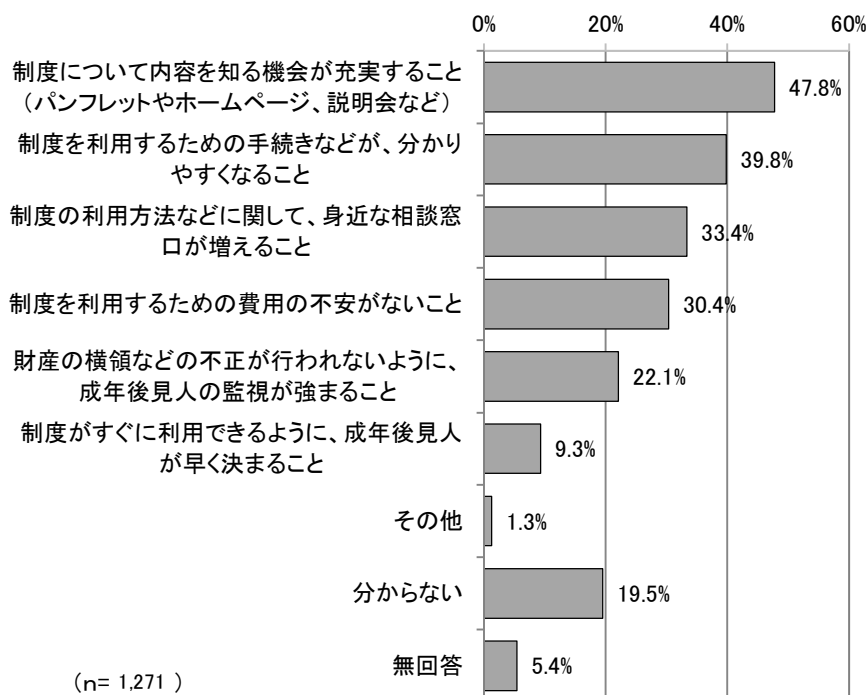
「成年後見センターこしがや」の認知度は、「言葉も聞いたことがなく、内容もまったく知らない」が61.6%と最も多く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」が26.6%となっています。



③ 成年後見制度を利用しやすくするために必要なこと

問23 成年後見制度が利用しやすいものとなるために、どの様なことが必要であると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

成年後見制度を利用しやすくするために必要なことは、「制度について内容を知る機会が充実すること（パンフレットやホームページ、説明会など）」が47.8%と最も多く、次いで「制度を利用するための手続きなどが、分かりやすくなること」が39.8%となっています。

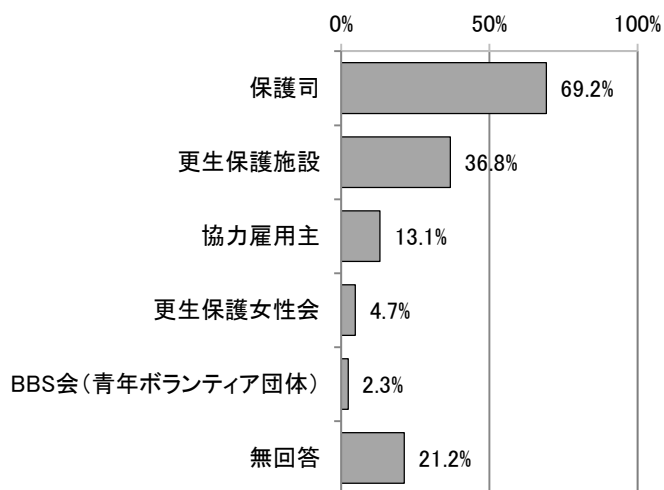


6 再犯防止に関して

① 民間協力者の認知度

問24 あなたは、犯罪をした人が立ち直り、再犯しないようにすることに協力する民間協力者として次の方々がいることを知っていますか。（あてはまるものすべてに○）

民間協力者の認知度は、「保護司」が69.2%と最も多く、次いで「更生保護施設」が36.8%となっています。

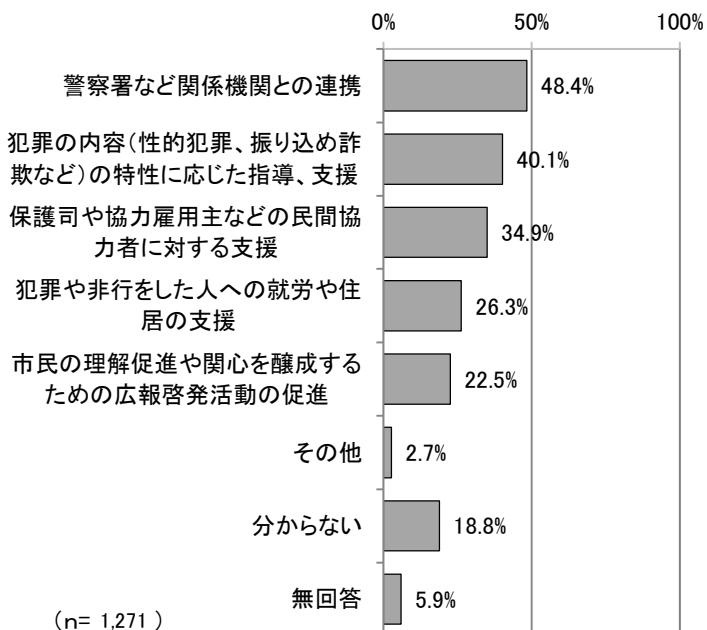


(n= 1,271)

② 再犯防止で力を入れていくべき施策

問25 越谷市は、再犯防止に関してどのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

再犯防止で力を入れていくべき施策は、「警察署など関係機関との連携」が48.4%と最も多く、次いで「犯罪の内容（性的犯罪、振り込め詐欺など）の特性に応じた指導、支援」が40.1%となっています。



(n= 1,271)

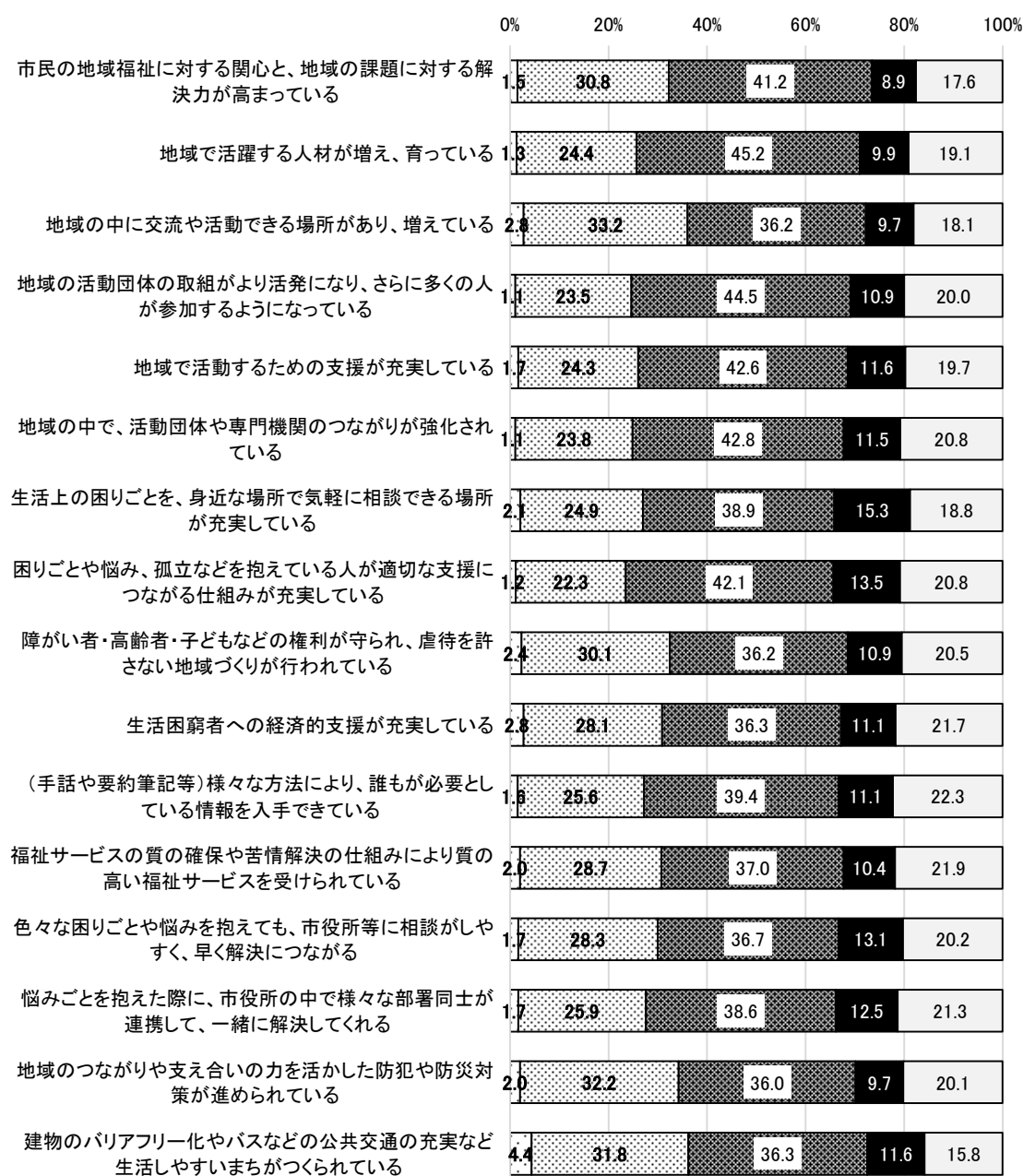
7 越谷市の地域福祉全般について

① 越谷市の地域福祉の現状について

問26 越谷市の地域福祉の現状についてどう思いますか。(項目ごとに1つ○)

いずれの項目も「あまりできていない」が最も多くなっています。

『できている』(「できている」と「ある程度できている」の合計)が最も多いのは「建物のバリアフリー化やバスなどの公共交通の充実など生活しやすいまちがつけられている」である一方、『できていない』(「あまりできていない」と「ほとんどできていない」の合計)が最も多いのは「困りごとや悩み、孤立などを抱えている人が適切な支援につながる仕組みが充実している」となっています。



(n=1,271) □できている □ある程度できている ■あまりできていない ■ほとんどできていない □無回答

Ⅱ（２）調査結果：団体アンケート①

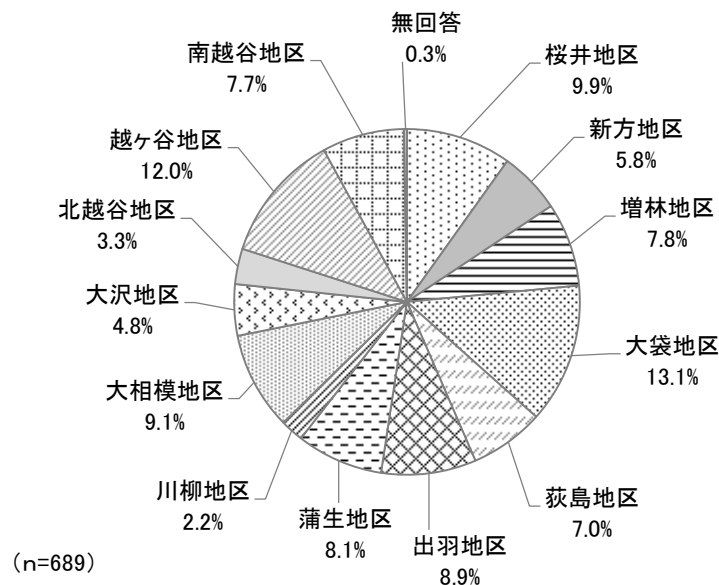
Ⅱ（２） 調査結果：団体アンケート①

1 団体の概要について

① 住所

問1 貴団体の所在地についてご記入ください。（1つに○）

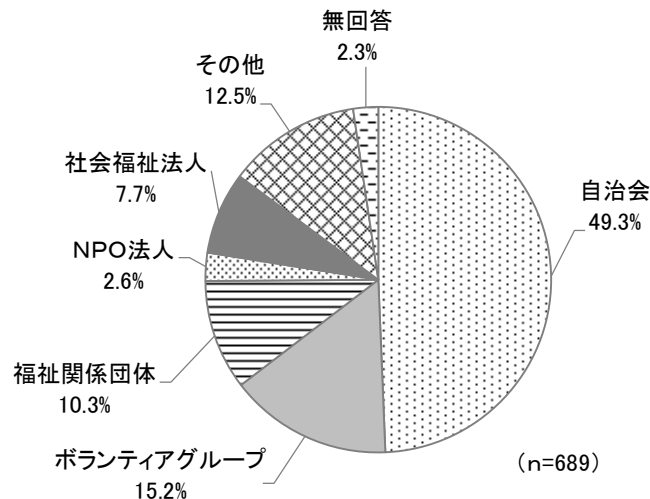
住所は、「大袋地区」が13.1%と最も多く、次いで「越ヶ谷地区」が12.0%となっています。



② 組織形態

問2 貴団体の組織形態についてご記入ください。（1つに○）

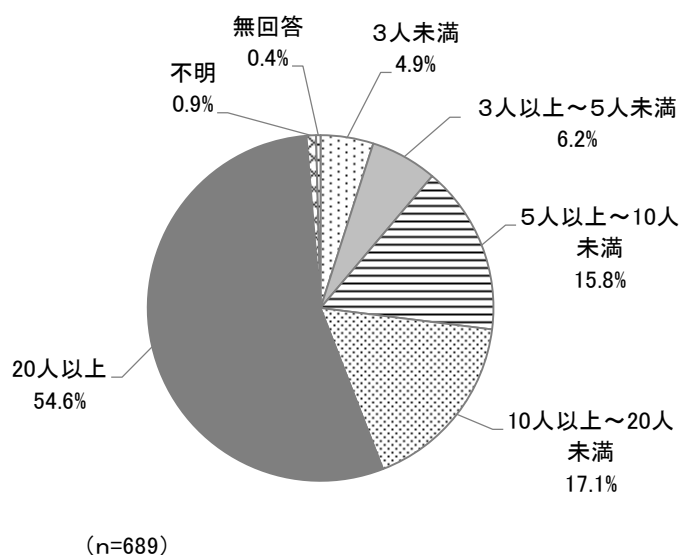
組織形態は、「自治会」が49.3%と最も多く、次いで「ボランティアグループ」が15.2%となっています。



③ 構成員

問3 貴団体の現在の構成員（会員、スタッフなど）は何人ですか。分かる範囲でご記入ください。（1つに○）

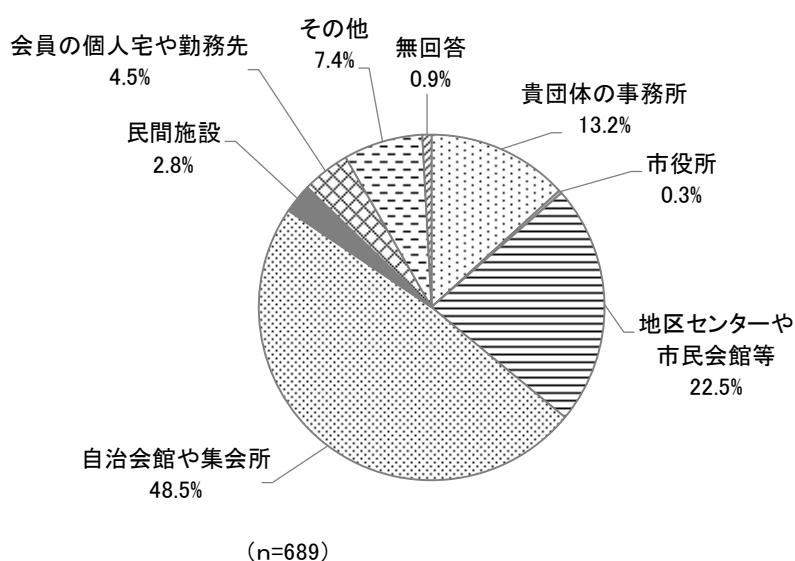
構成員は、「20人以上」が54.6%と最も多く、次いで「10人以上～20人未満」が17.1%となっています。



④ 活動場所

問4 貴団体の活動場所はどこですか。中心的な場所をお答えください。（1つに○）

活動場所は、「自治会館や集会所」が48.5%と最も多く、次いで「地区センターや市民会館等」が22.5%となっています。

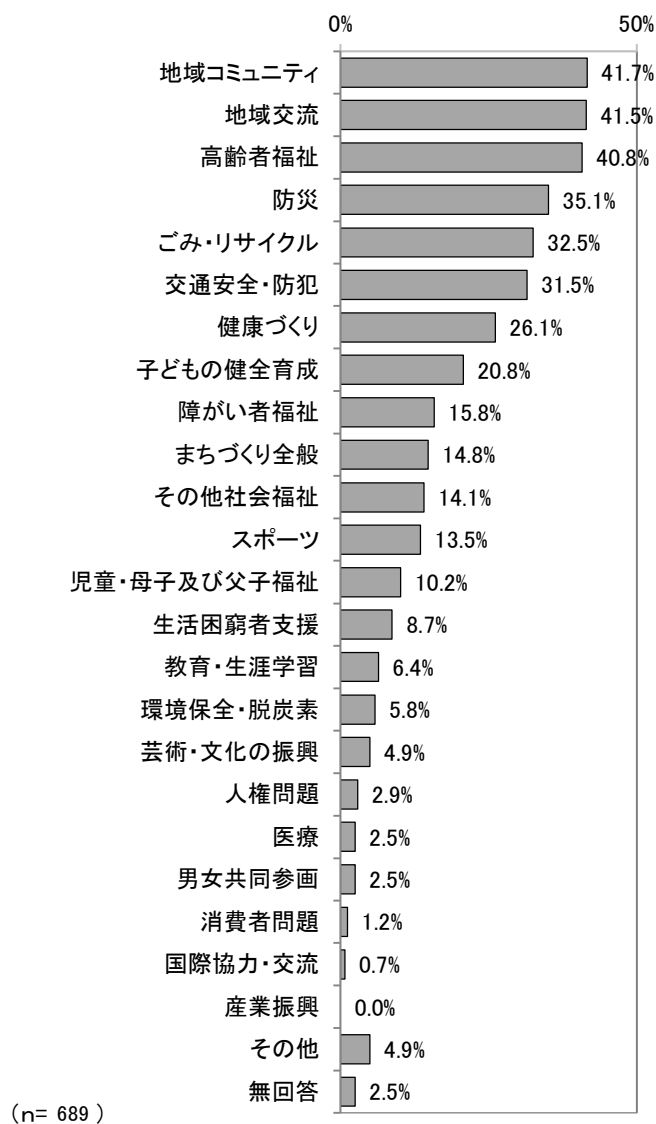


2 団体の地域活動状況について

① 主な活動等

問5 貴団体が取り組んでいる主な活動等はどの分野ですか。（あてはまるものすべてに○）

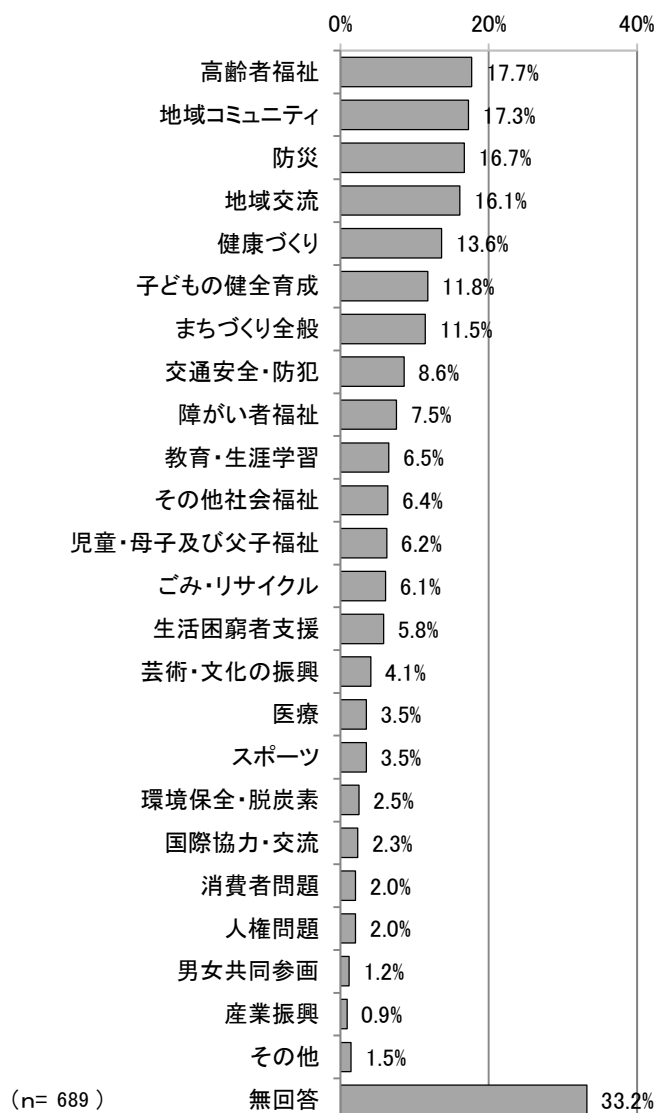
主な活動等は、「地域コミュニティ」が41.7%と最も多く、次いで「地域交流」が41.5%となっています。



② 今後取り組んでみたい活動

問6 問5の選択肢のうち、貴団体が今後取り組んでみたい活動の番号をご記入ください。(いくつでも可)

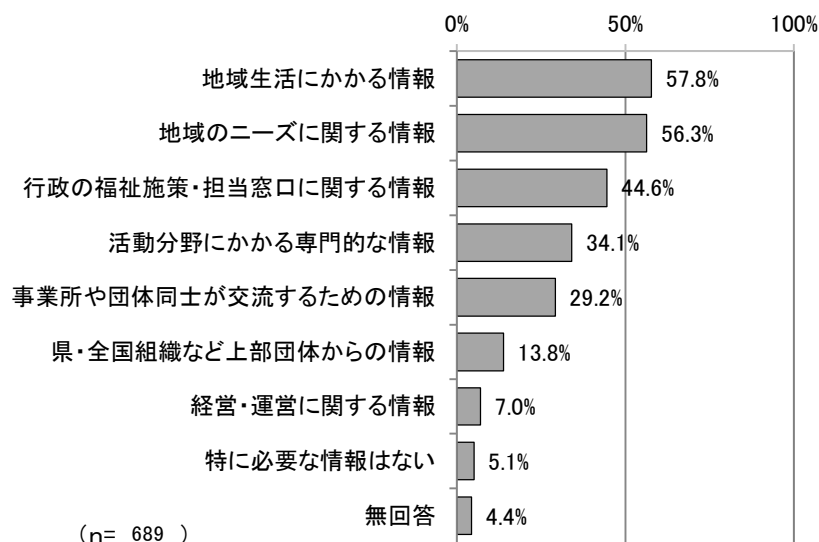
今後取り組んでみたい活動は、「高齢者福祉」が17.7%と最も多く、次いで「地域コミュニティ」が17.3%となっています。



③ 活動に必要な情報

問7 地域での活動に必要な情報はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

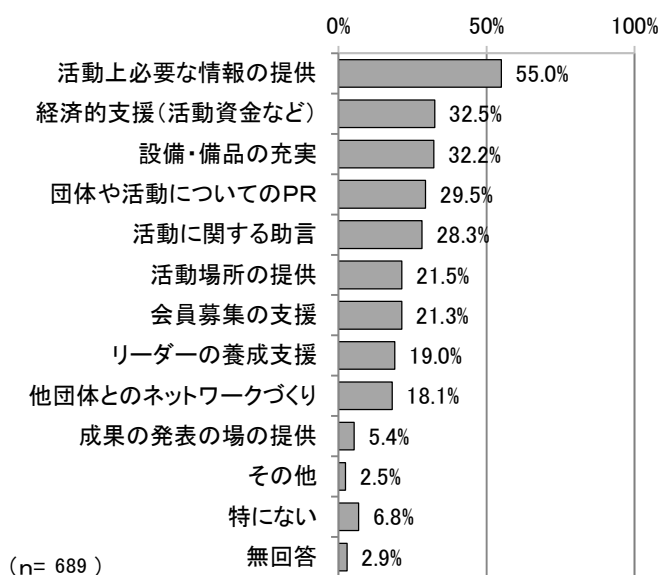
活動に必要な情報は、「地域生活にかかる情報」が57.8%と最も多く、次いで「地域のニーズに関する情報」が56.3%となっています。



④ 市役所・社会福祉協議会に期待する支援

問8 貴団体の活動を充実させるために、市役所・社会福祉協議会に期待する支援を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

市役所・社会福祉協議会に期待する支援は、「活動上必要な情報の提供」が55.0%と最も多く、次いで「経済的支援（活動資金など）」が32.5%となっています。

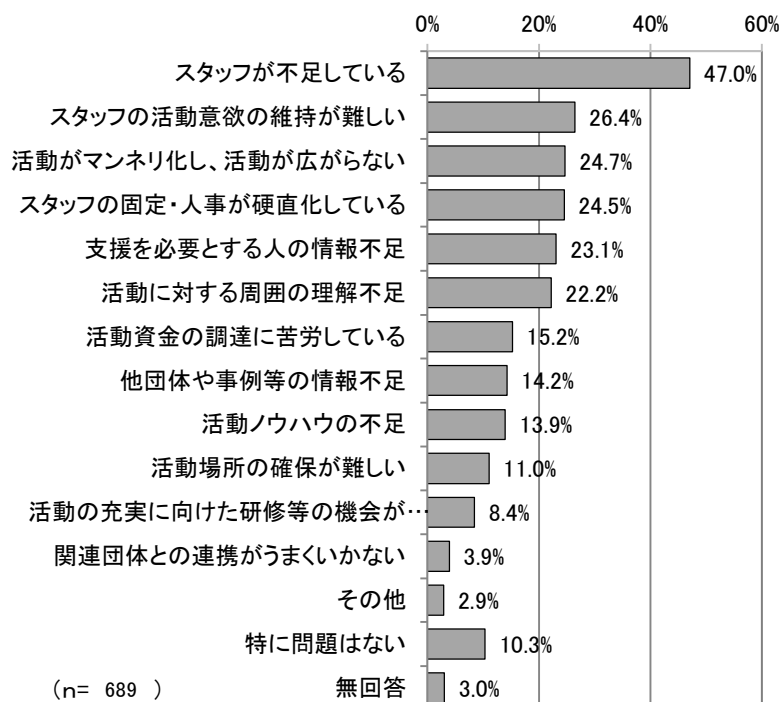


3 活動上の課題や他の団体等との連携について

① 運営上の問題点・課題

問9 貴団体が地域活動を行う上での運営上の問題点・課題についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

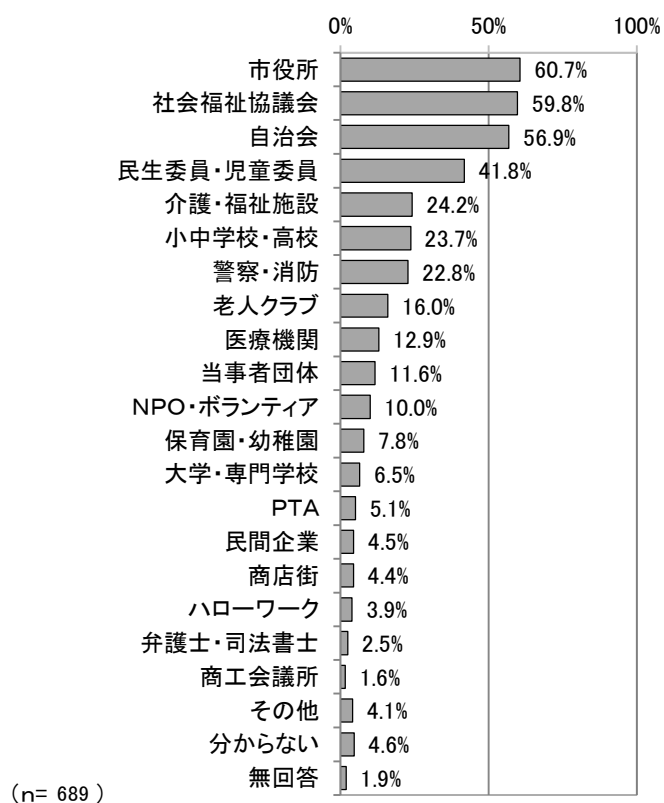
運営上の問題点・課題は、「スタッフが不足している」が 47.0%と最も多く、次いで「スタッフの活動意欲の維持が難しい」が 26.4%となっています。



② 連携・協力関係

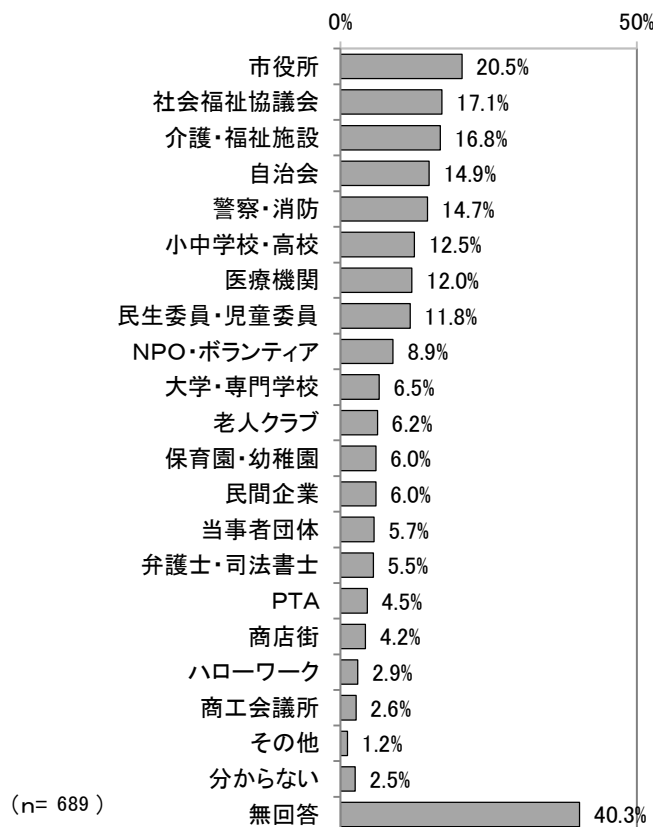
問10 貴団体は地域での活動を行う上で、以下の選択肢のような団体や組織と連携・協力関係がありますか。(あてはまるものすべてに○)

連携・協力関係は、「市役所」が60.7%と最も多く、次いで「社会福祉協議会」が59.8%となっています。



問11 問10の選択肢のうち、貴団体が今後連携・協力関係を深めたい団体や組織があれば、番号をご記入ください。(いくつでも可)

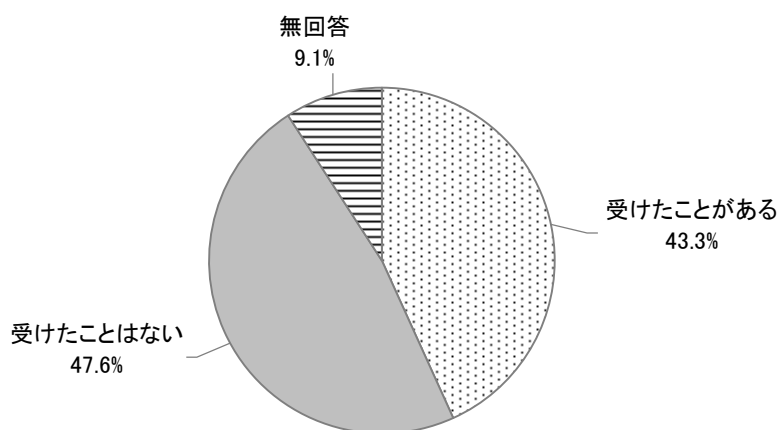
今後連携・協力関係を深めたい団体や組織は、「市役所」が20.5%と最も多く、次いで「社会福祉協議会」が17.1%となっています。



③ 困りごと等の相談

問12 貴団体の活動を通して、市民の方から生活上の困りごと等の相談を受けたことがありますか。(1つに○)

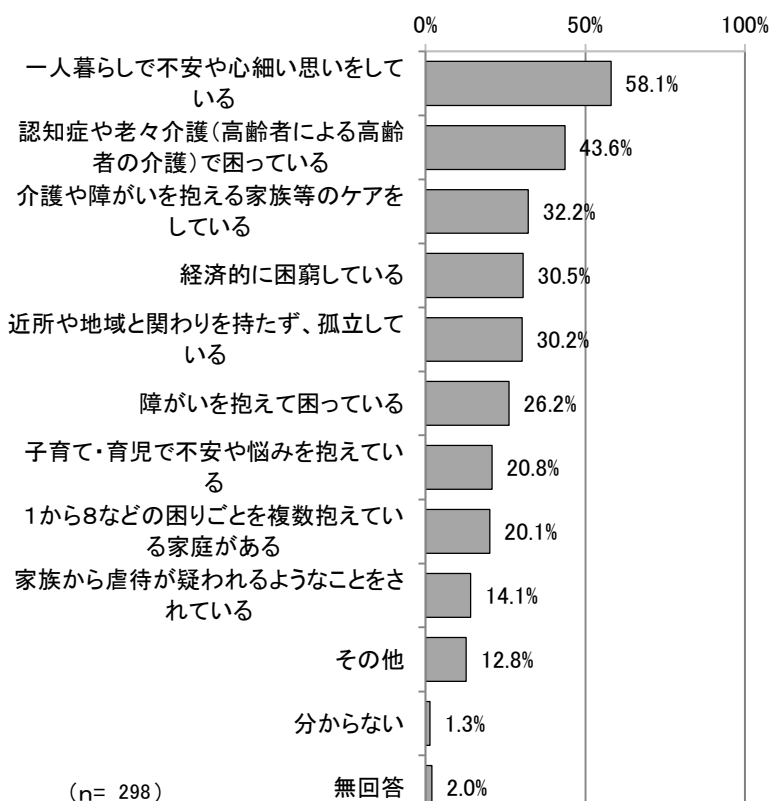
困りごと等の相談は、「受けたことはない」が47.6%と、次いで「受けたことがある」が43.3%となっています。



(n=689)

問12-1 (問12で「1. 受けたことがある」とお答えの方に) どのような相談内容でしたか。(あてはまるものすべてに○)

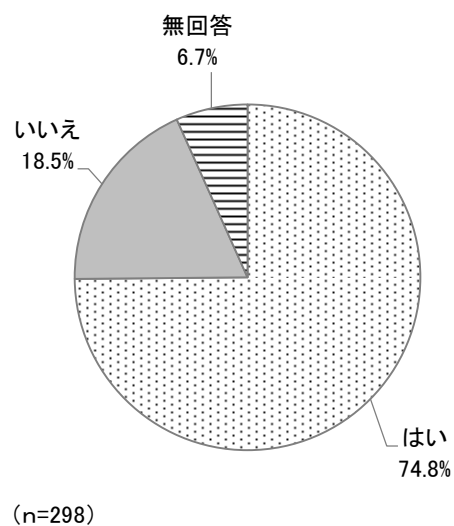
相談内容は、「一人暮らしで不安や心細い思いをしている」が58.1%と最も多く、次いで「認知症や老々介護(高齢者による高齢者の介護)で困っている」が43.6%となっています。



(n= 298)

問12-2（問12で「1. 受けたことがある」とお答えの方に）解決または解決のきっかけに至りましたか。（1つに○）

解決または解決のきっかけに至ったかは、「はい」が74.8%と、次いで「いいえ」が18.5%となっています。



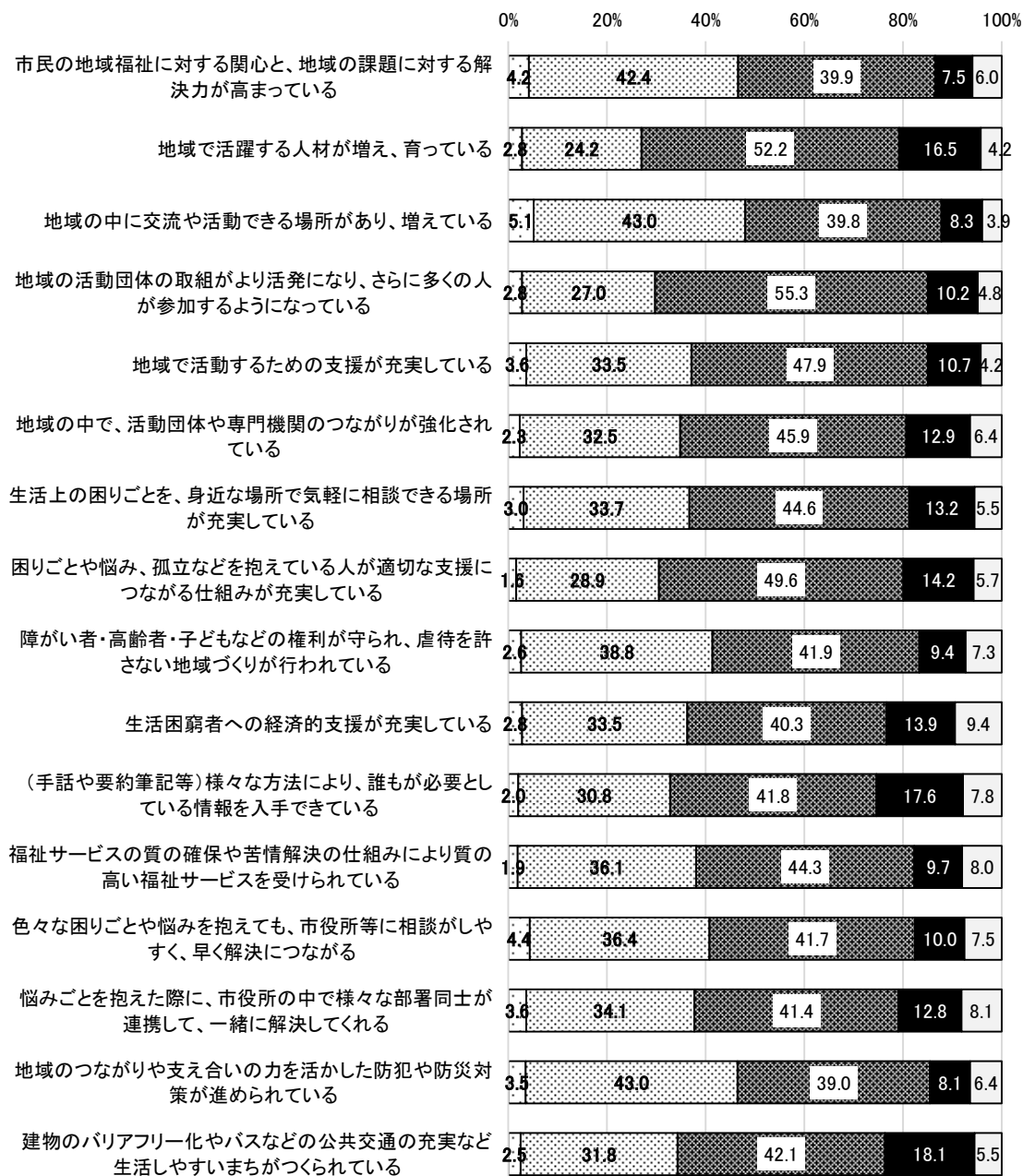
4 越谷市全体の地域福祉や地域活動の活性等について

① 越谷市の地域福祉の現状

問13 越谷市の地域福祉の現状についてどう思いますか。(項目ごとに1つに○)

「市民の地域福祉に対する関心と、地域の課題に対する解決力が高まっている」、「地域の中に交流や活動できる場所があり、増えている」、「地域のつながりや支え合いの力を活かした防犯や防災対策が進められている」は「ある程度できている」が最も多くなっていますが、それ以外は「あまりできていない」が最も多くなっています。

『できている』(「できている」と「ある程度できている」の合計)が最も多いのは「地域の中に交流や活動できる場所があり、増えている」である一方、『できていない』(「あまりできていない」と「ほとんどできていない」の合計)が最も多いのは「地域で活躍する人材が増え、育っている」となっています。



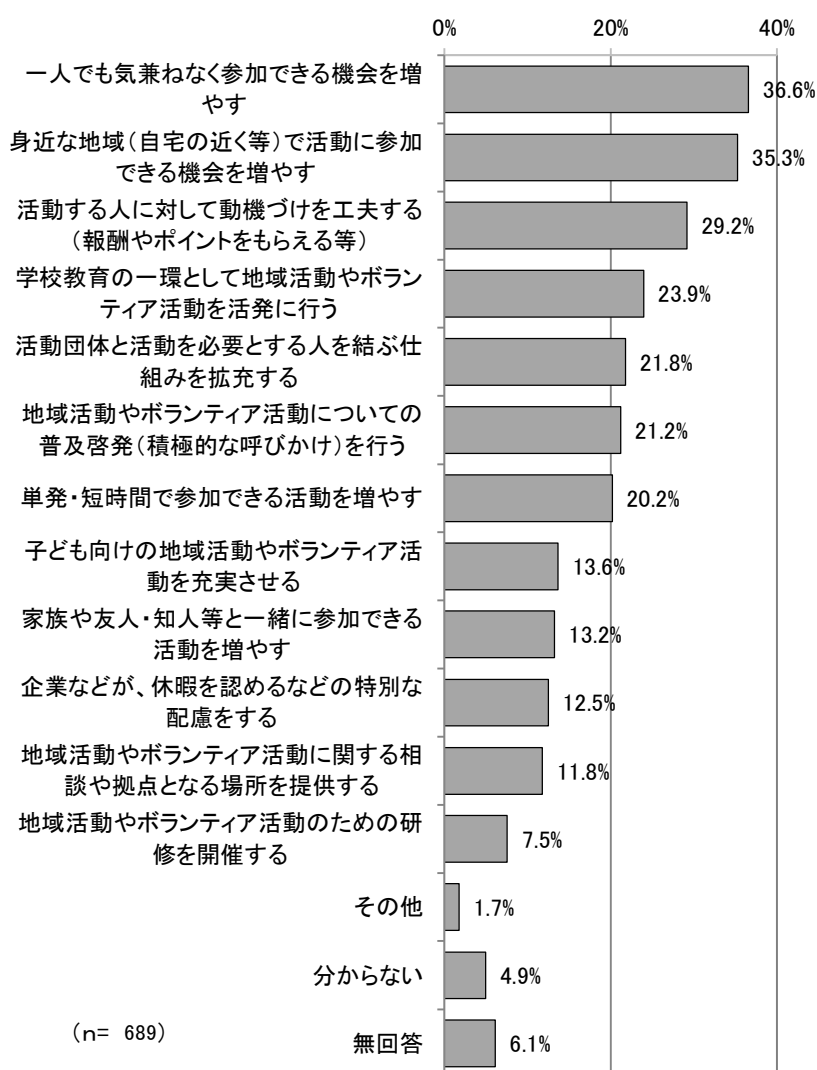
(n=689)

□できている □ある程度できている ■あまりできていない ■ほとんどできていない □無回答

② ボランティアや NPO 活動を広げるために必要なこと

問14 ボランティア活動・NPO 活動や市民の主体的な活動が地域に広がっていくためには、何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

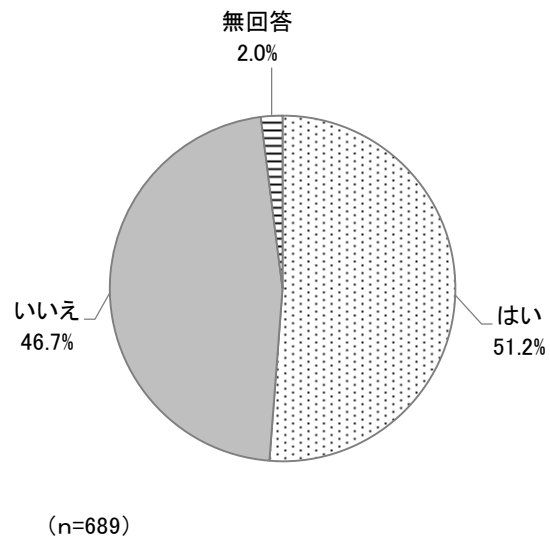
ボランティアや NPO 活動を広げるためには、「一人でも気兼ねなく参加できる機会を増やす」が 36.6%と最も多く、次いで「身近な地域（自宅の近く等）で活動に参加できる機会を増やす」が 35.3%となっています。



③ 個別避難計画の認知度

問15 越谷市が推進している、越谷避難行動要支援者支援制度における「個別避難計画」についてご存じですか。(1 つに○)

個別避難計画の認知度は、「はい」が51.2%、「いいえ」が46.7%となっています。



Ⅱ（３） 調査結果：団体アンケート②

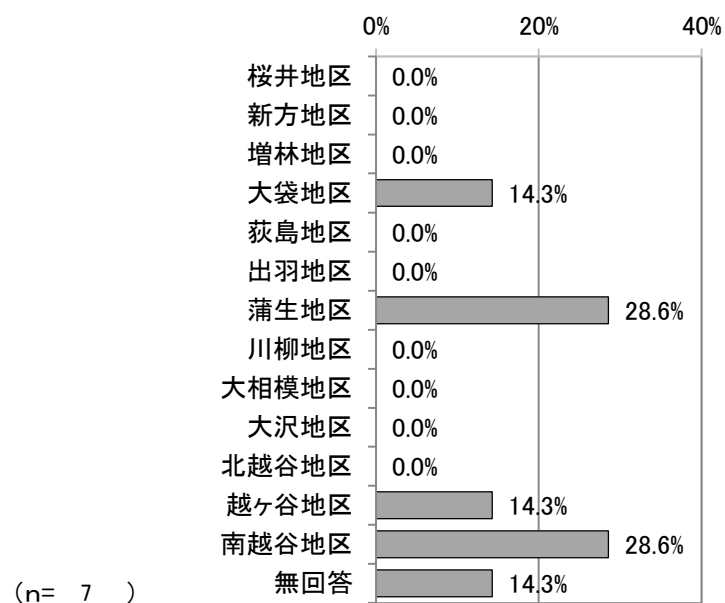
Ⅱ（３） 調査結果：団体アンケート②

1 事業所の概要について

① 住所

問1 貴事業所の所在地についてご記入ください。（1つに○）

所在地は、「蒲生地区」、「南越谷地区」が各 28.6%となっています。

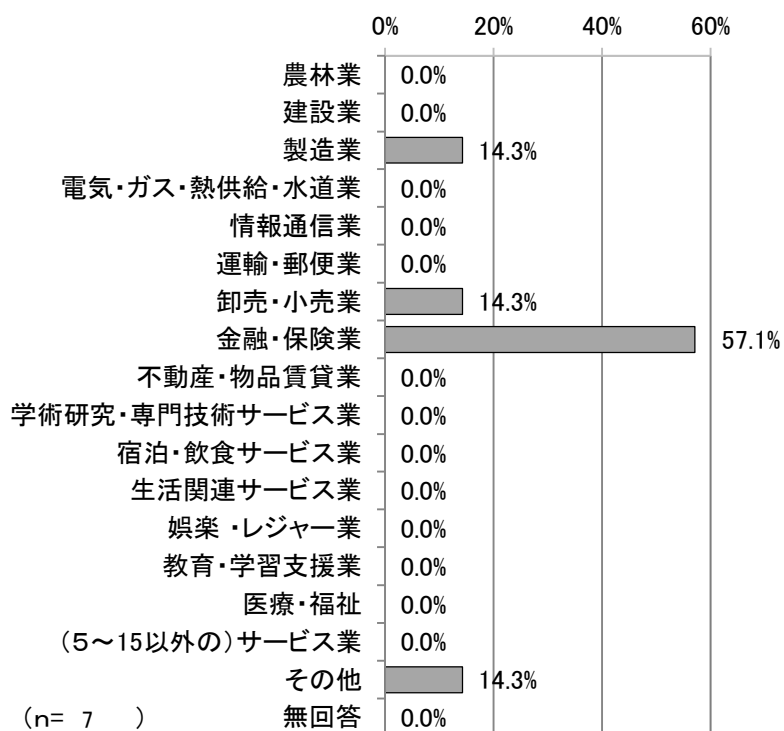


② 業種

問2 貴事業所の主な業種は次のうちどれにあたりますか。(1つに○)

(※複数ある場合は、主たるものをお答えください)

業種は、「金融・保険業」が57.1%と最も多くなっています

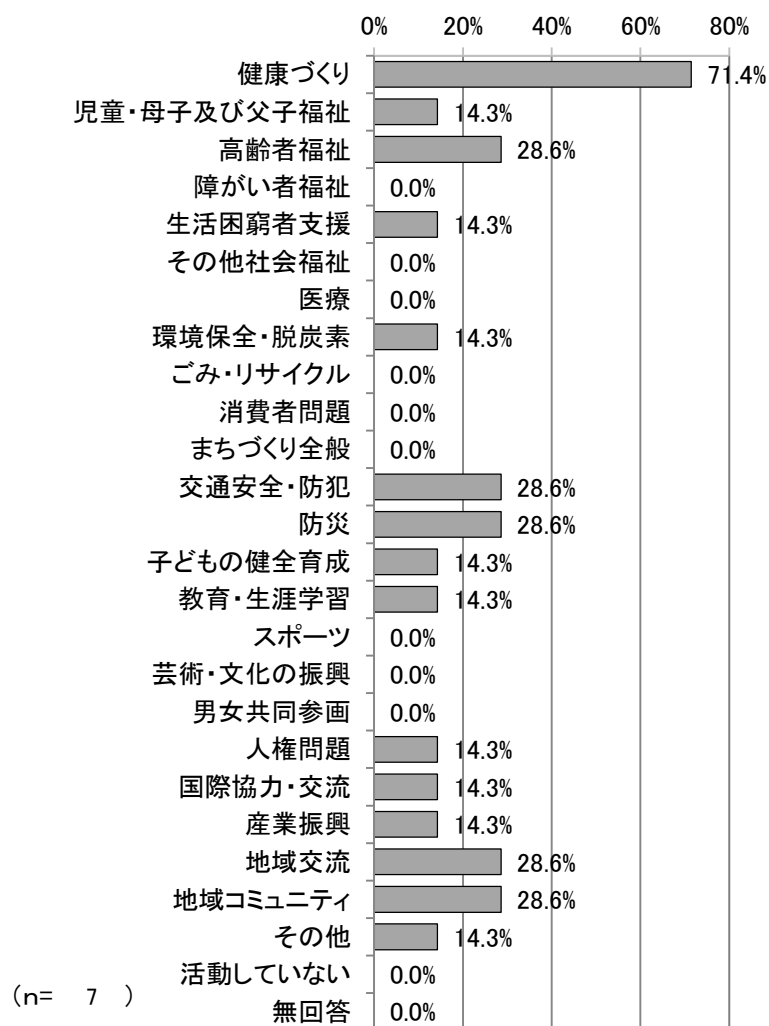


2 事業所の地域活動状況について

① 地域の課題解決に関して取り組んでいる主な活動等

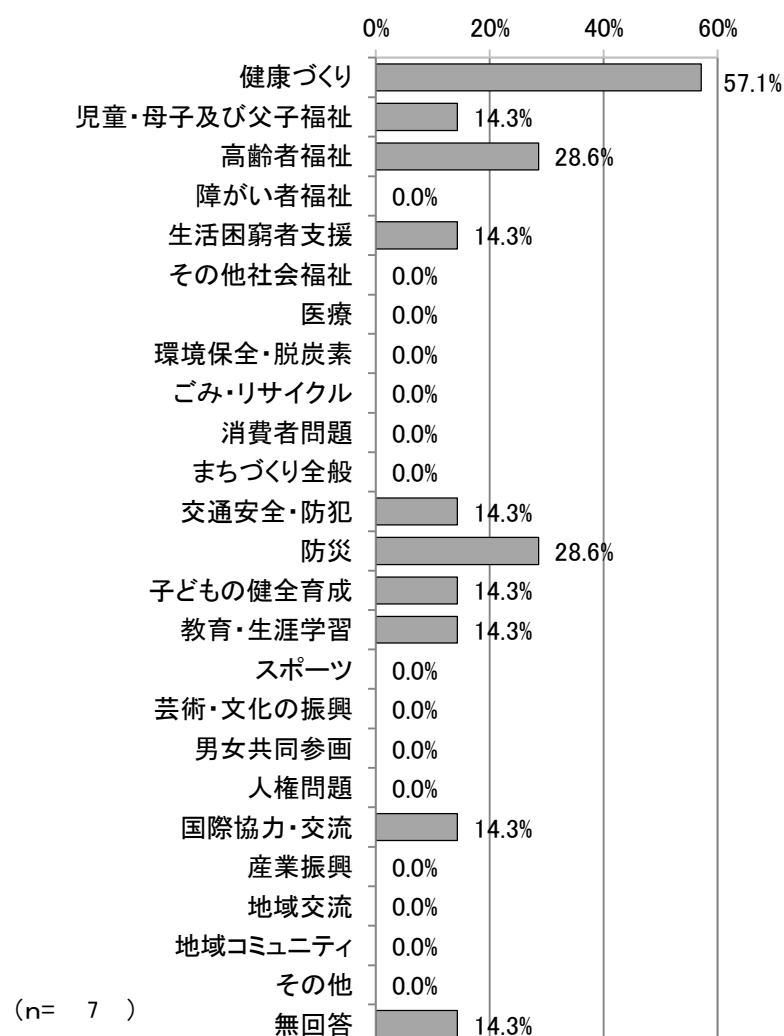
問3 貴事業所が越谷市において地域の課題解決に関して取り組んでいる主な活動等はどの分野ですか。（あてはまるものすべてに○）

課題解決に関して取り組んでいる主な活動は、「健康づくり」が71.4%と最も多くなっています



問4 (問3で1～24のいずれかを選択した方に) 問3の選択肢のうち、貴事業所で実施されている主な取り組みをお答えください。(3つまで)

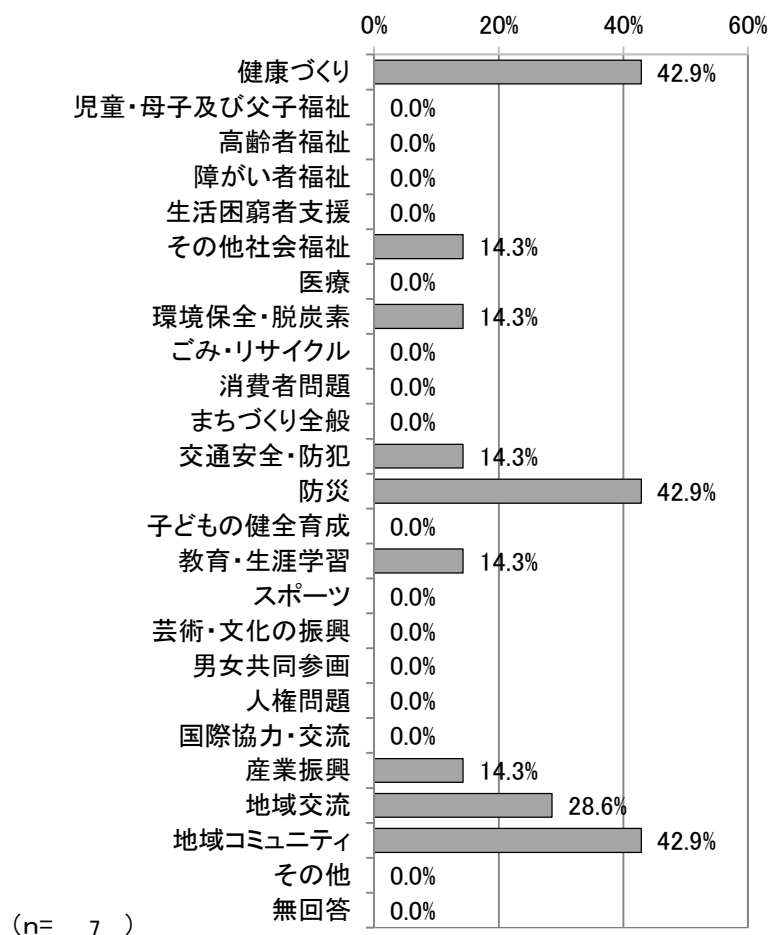
実施している主な活動は、「健康づくり」が57.1%と最も多くなっています



② 今後取り組んでみたい活動

問5 問3の選択肢のうち、貴事業所が今後取り組んでみたい活動の番号をご記入ください。
(いくつでも可)

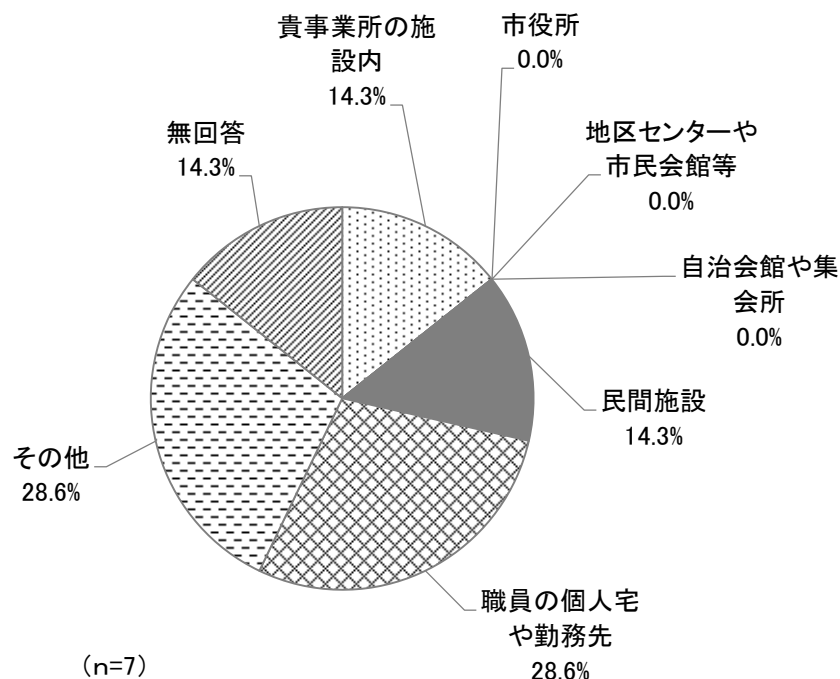
今後取り組んでみたい活動は、「健康づくり」、「防災」、「地域コミュニティ」が各 42.9% となっています



③ 活動場所

問6 貴事業所が地域で活動する際の場所はどこですか。中心的な場所をお答えください。(1つに○)

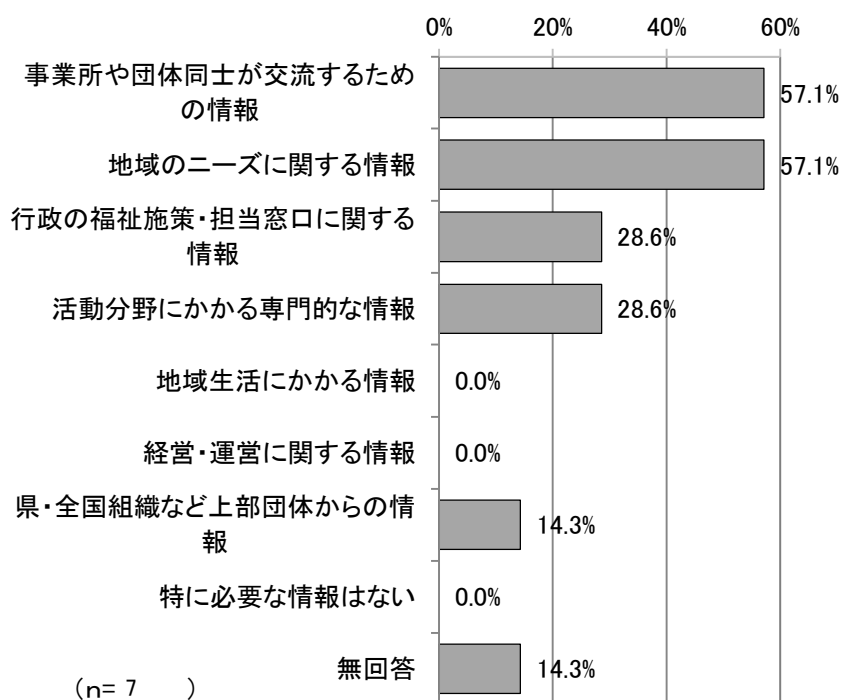
活動場所は、「職員の個人宅や勤務先」が28.6%と最も多くなっています。



④ 活動に必要な情報

問7 地域での活動に必要な情報はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

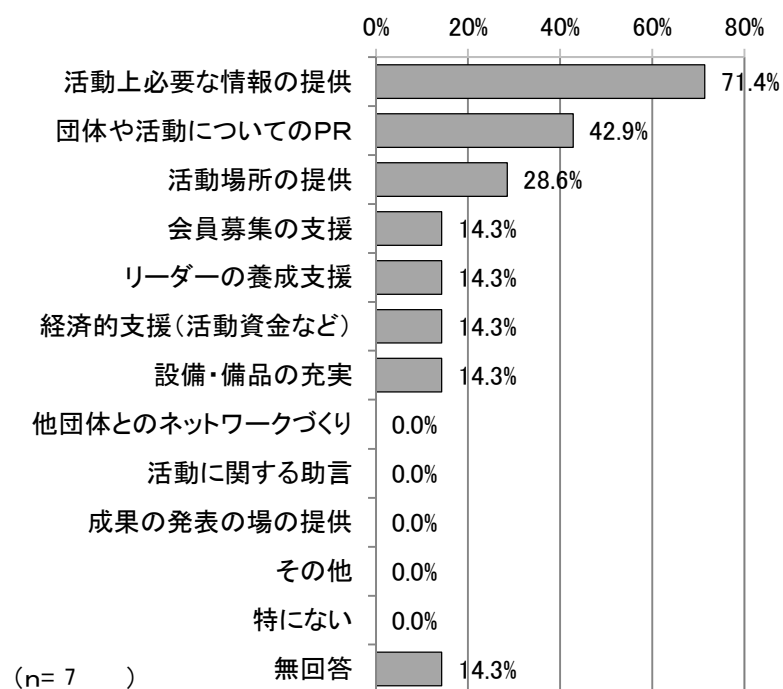
活動に必要な情報は、「事業所や団体同士が交流するための情報」、「地域のニーズに関する情報」が各57.1%となっています。



⑤ 市役所・社会福祉協議会に期待する支援

問8 貴事業所の地域での活動を充実させるために、市役所・社会福祉協議会に期待する支援を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

市役所・社会福祉協議会に期待する支援は、「活動上必要な情報の提供」が71.4%と最も多くなっています。

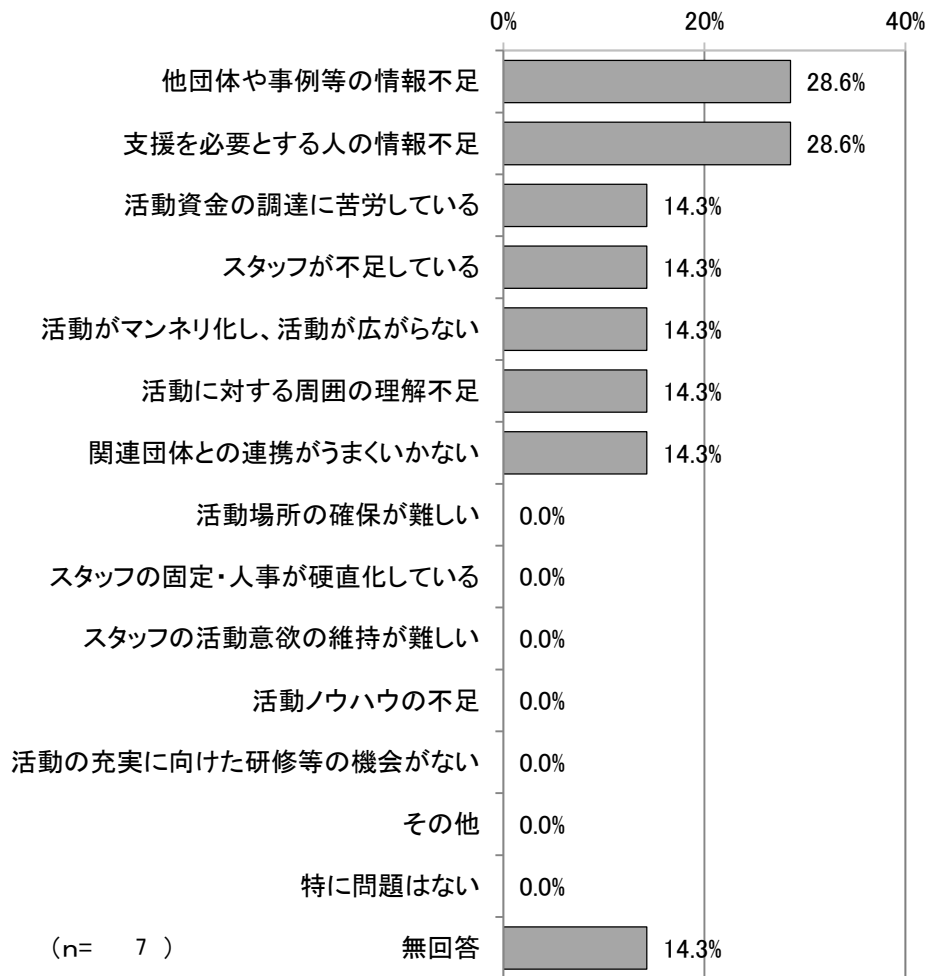


3 活動上の課題や他の団体等との連携について

① 運営上の問題点・課題

問9 貴事業所が地域活動を行う上での運営上の問題点・課題についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

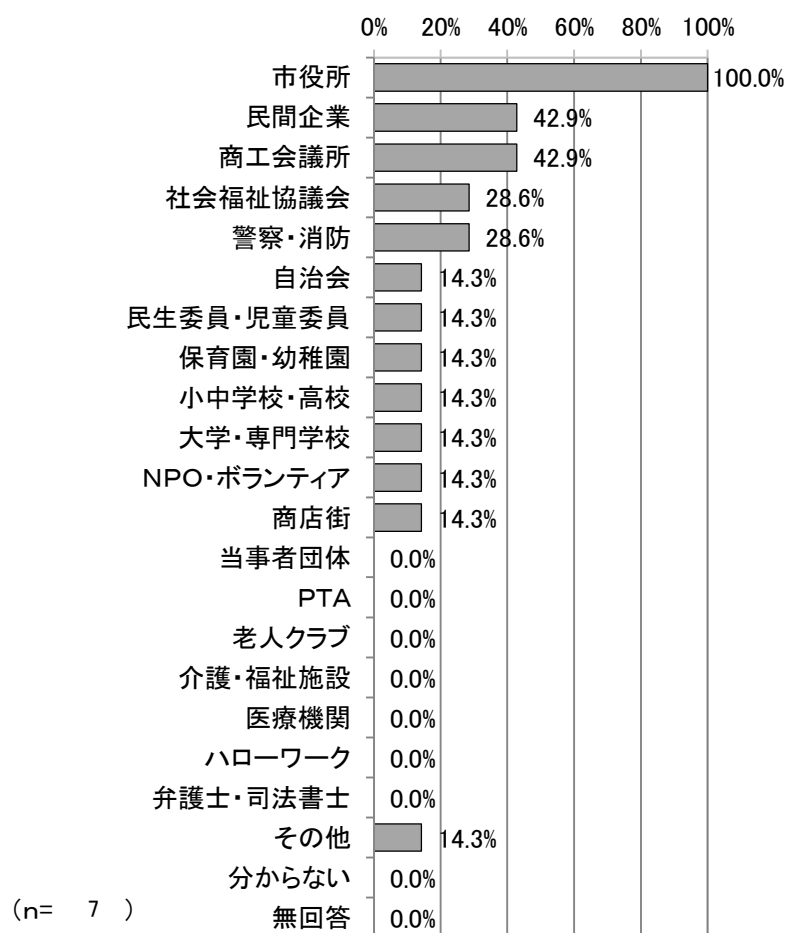
運営上の問題点・課題は、「他団体や事例等の情報不足」、「支援を必要とする人の情報不足」が各 28.6%となっています。



② 連携・協力関係

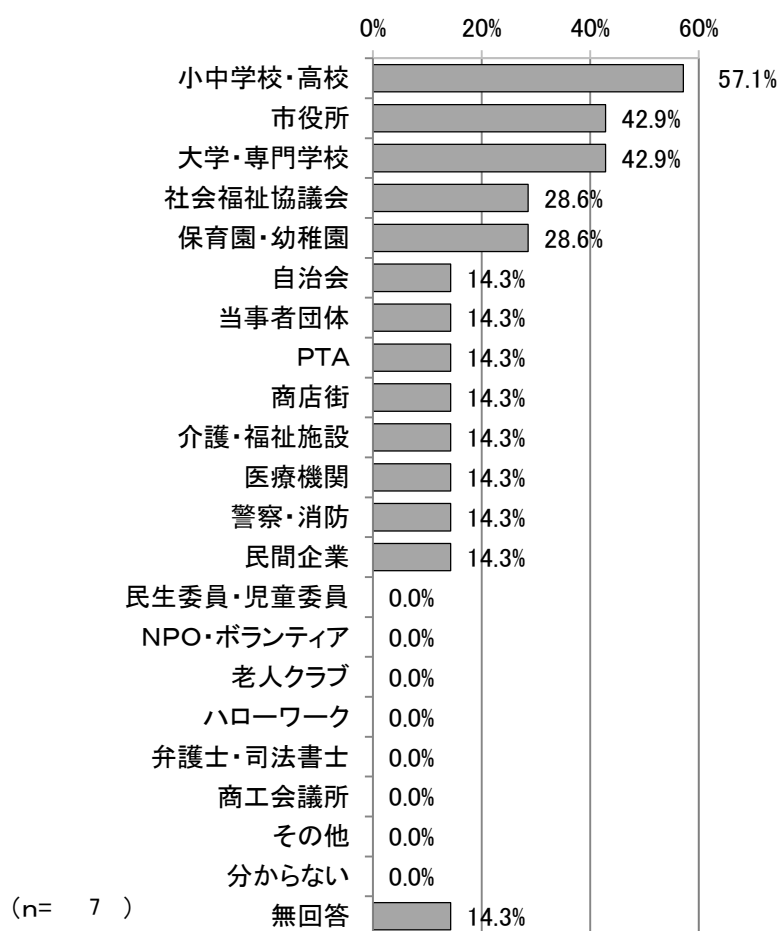
問10 貴事業所は地域での活動を行う上で、以下の選択肢のような団体や組織と連携・協力関係がありますか。(あてはまるものすべてに○)

連携・協力関係は、「市役所」が100.0%となっています。



問11 問10の選択肢のうち、貴事業所が今後連携・協力関係を深めたい団体や組織があれば、番号をご記入ください。(いくつでも可)

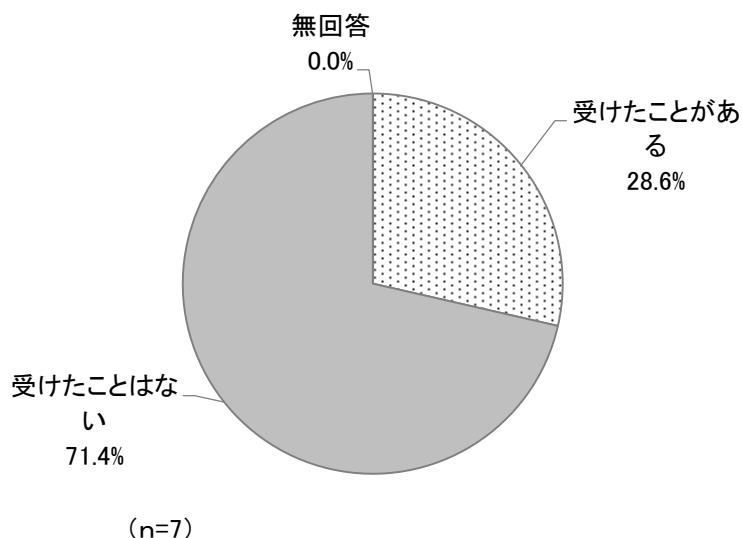
今後連携・協力関係を深めたい団体や組織は、「小中学校・高校」が57.1%と最も多くなっています。



③ 困りごと等の相談

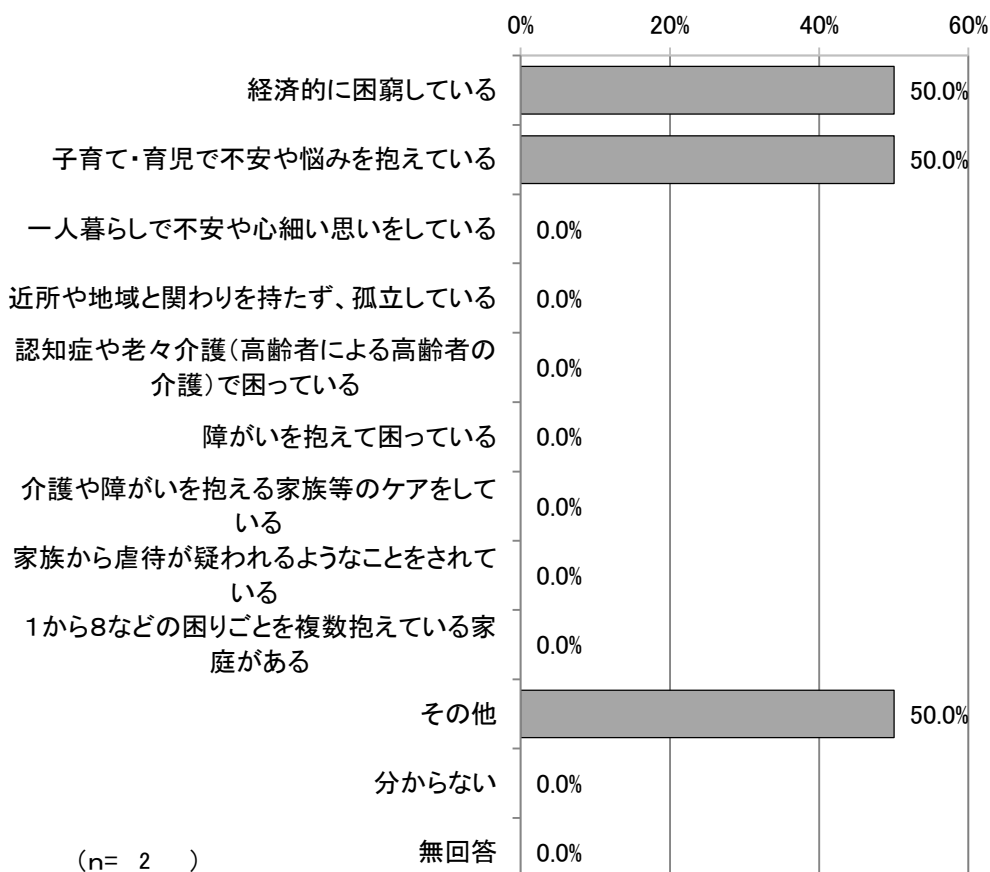
問12 貴事業所の活動を通して、市民の方から生活上の困りごと等の相談を受けたことがありますか。(1つに○)

困りごと等の相談は、「受けたことはない」が71.4%となっています。



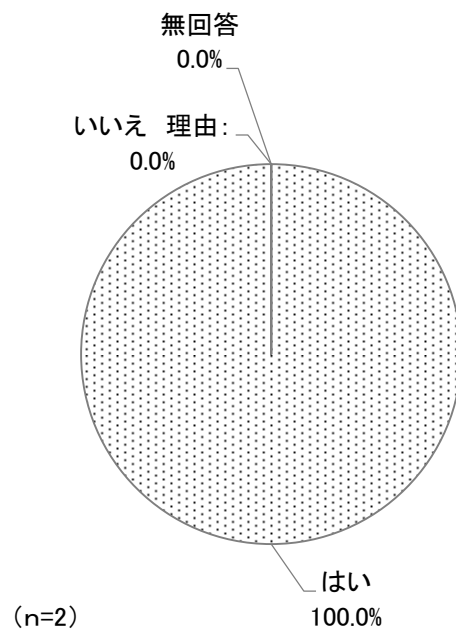
問12-1 (問12で「1. 受けたことがある」とお答えの方に) どのような相談内容でしたか。(あてはまるものすべてに○)

相談内容については、「経済的に困窮している」、「子育て・育児で不安や悩みを抱えている」が各50.0%となっています。



問1 2-2（問1 2で「1. 受けたことがある」とお答えの方に）解決または解決のきっかけに至りましたか。（1 つに○）

解決または解決のきっかけに至ったかについては、「はい」が 100.0%となっています。

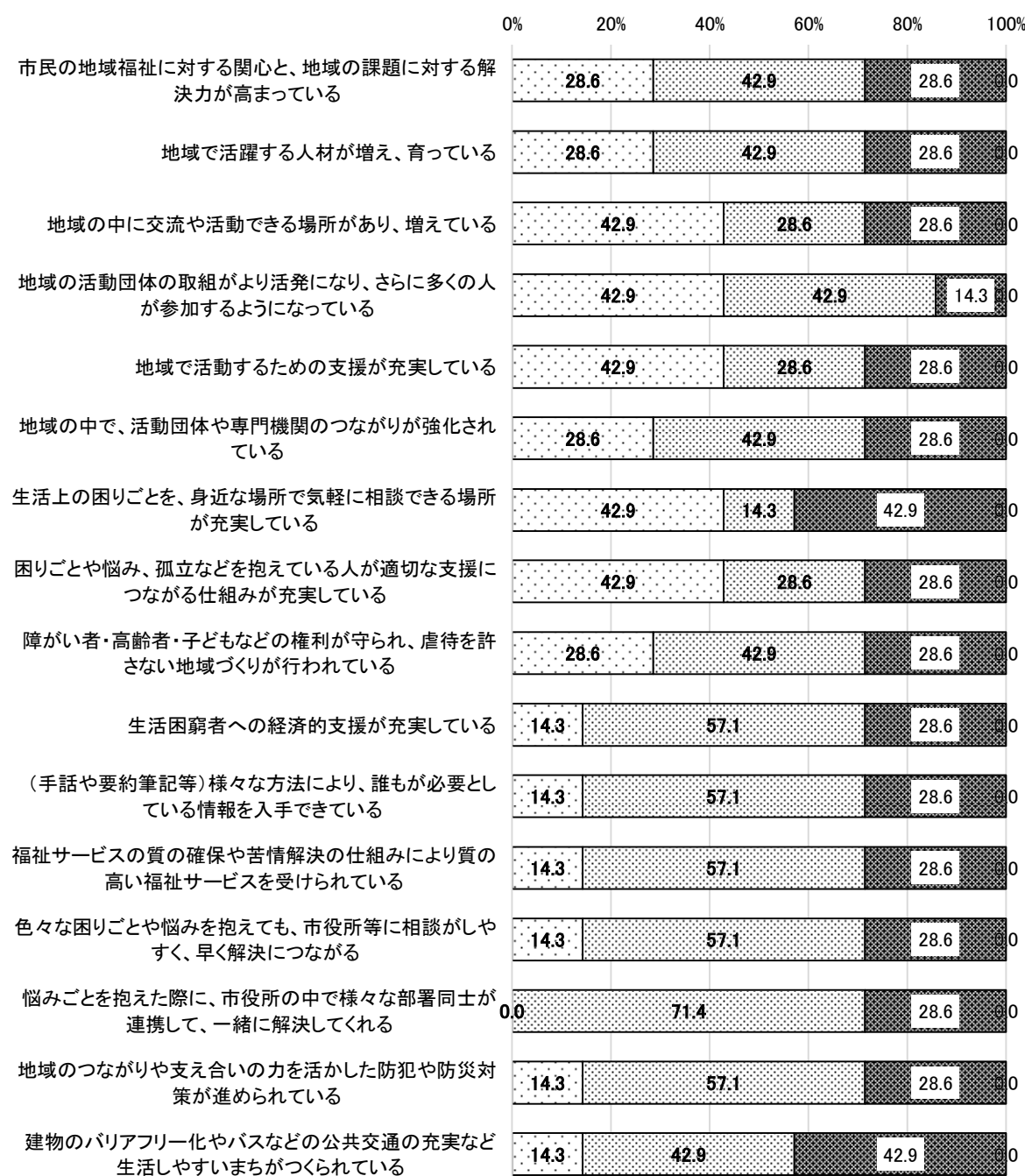


4 越谷市全体の地域福祉や地域活動の活性等について

① 越谷市の地域福祉の現状

問13 越谷市の地域福祉の現状についてどう思いますか。(項目ごとに1つに○)

『できている』(「できている」と「ある程度できている」の合計)が最も多いのは「地域の活動団体の取組がより活発になり、さらに多くの人が参加するようになっている」である一方、『できていない』(「あまりできていない」と「ほとんどできていない」の合計)が最も多いのは「生活上の困りごとを、身近な場所で気軽に相談できる場所が充実している」、「建物のバリアフリー化やバスなどの公共交通の充実など生活しやすいまちがつくられている」となっています。



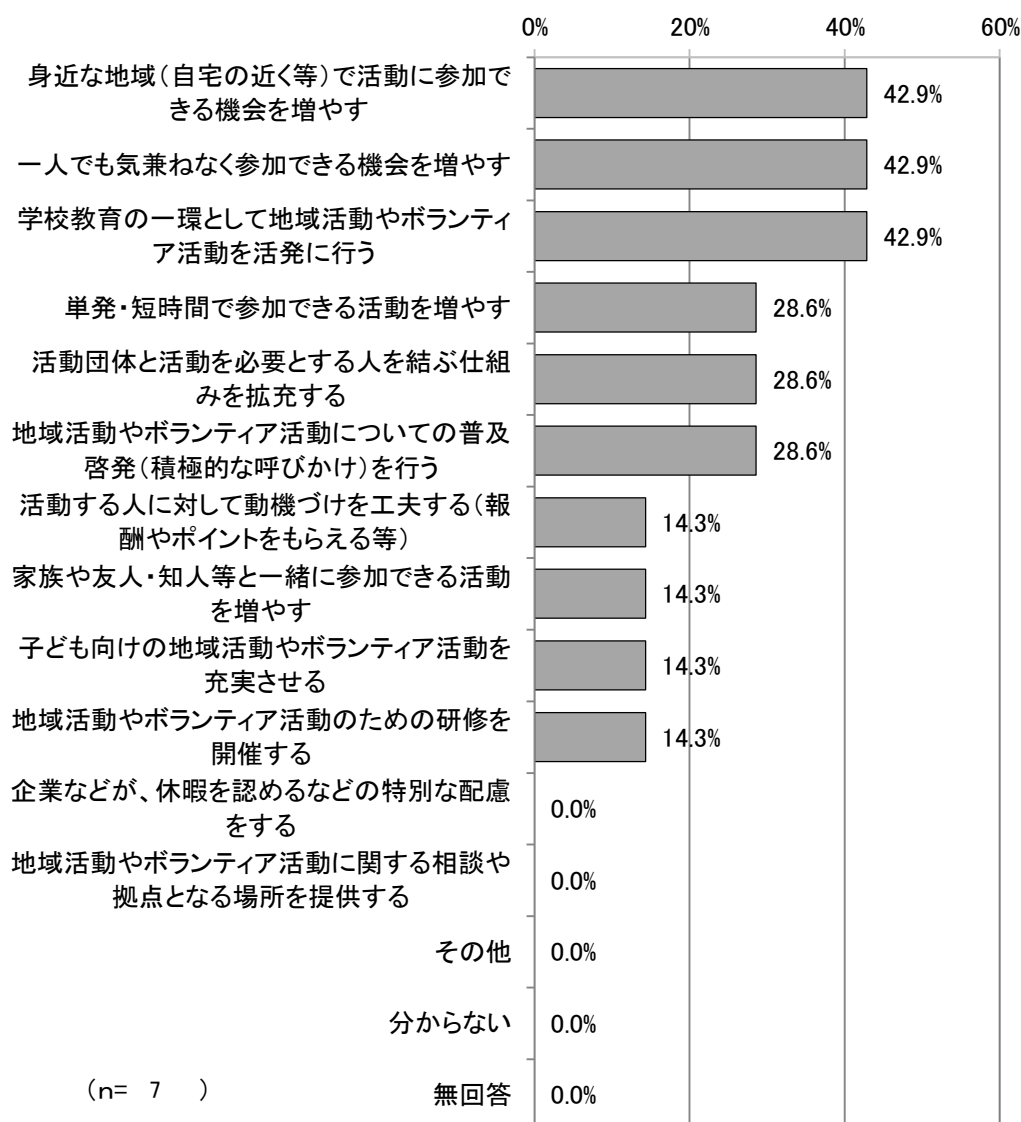
(n=7)

□できている □ある程度できている ■あまりできていない ■ほとんどできていない □無回答

② ボランティアや NPO 活動を広げるために必要なこと

問 1 4 ボランティア活動・NPO 活動や市民の主体的な活動が地域に広がっていくためには、何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

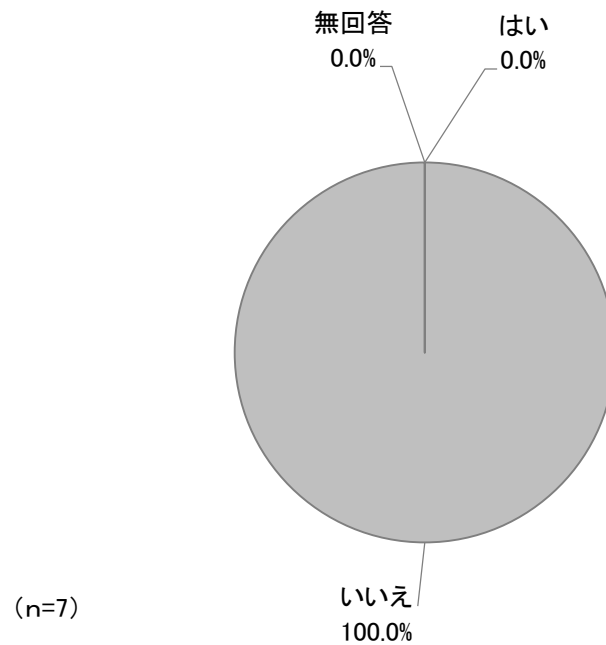
ボランティアや NPO 活動を広げるために必要なことは、「身近な地域（自宅の近く等）で活動に参加できる機会を増やす」、「一人でも気兼ねなく参加できる機会を増やす」、「学校教育の一環として地域活動やボランティア活動を活発に行う」が各 42.9%となっています。



③ 個別避難計画の認知度

問15 越谷市が推進している、越谷避難行動要支援者支援制度における「個別避難計画」についてご存じですか。(1 つに○)

個別避難計画の認知度は、「いいえ」が 100.0%となっています。



(問 16 (話し合いへの参加意向) については省略)